

橋場橋 位置図
S=1/10000(1/5000)

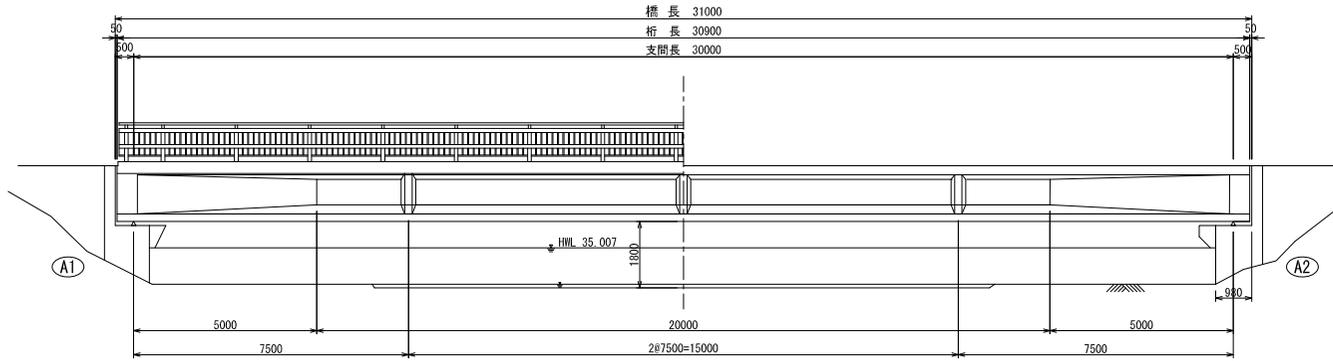


工事箇所
(市道N182号線 橋場橋)

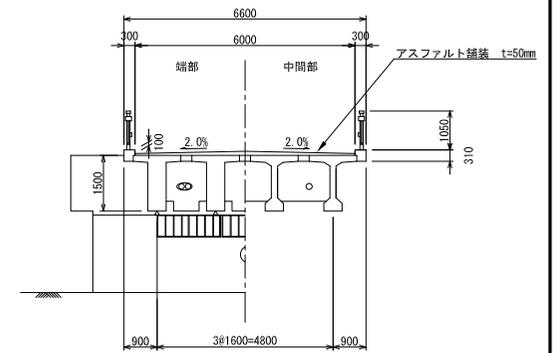
路線(河川)名	市道N182号線	
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工 事 箇 所 又 は 橋 名	橋 場 橋	
図 面 名 称	位 置 図	
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1割に拡大時」	図 面 番 号 1
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部 道路管理課	31

橋場橋 橋梁一般図

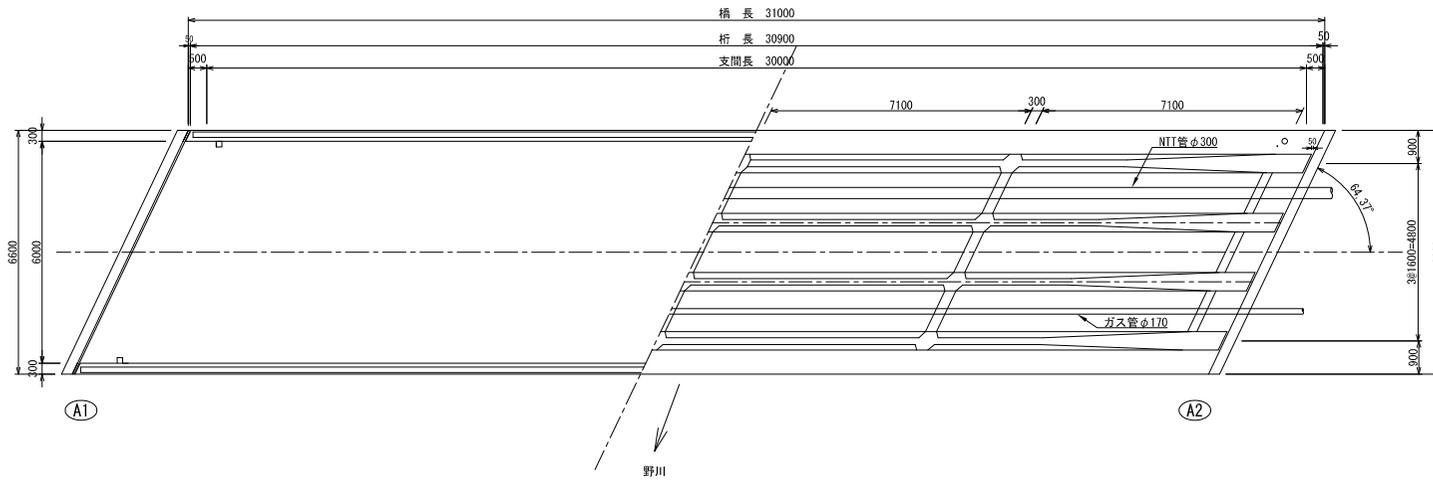
側面図 S=1/140 (1/70)



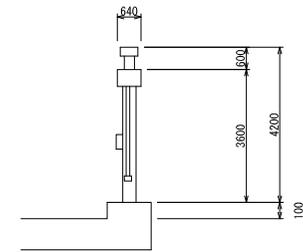
断面図 S=1/140 (1/70)



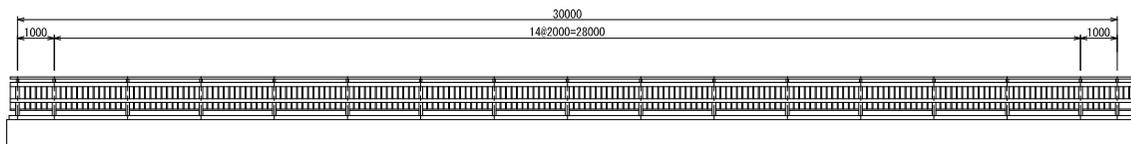
平面図 S=1/140 (1/70)



防護柵断面図 S=1/140 (1/70)



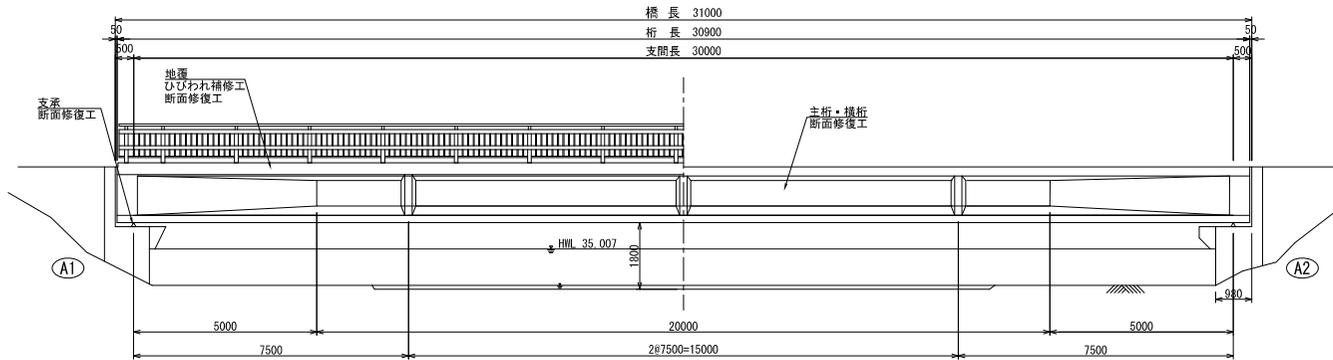
防護柵側面図 S=1/140 (1/70)



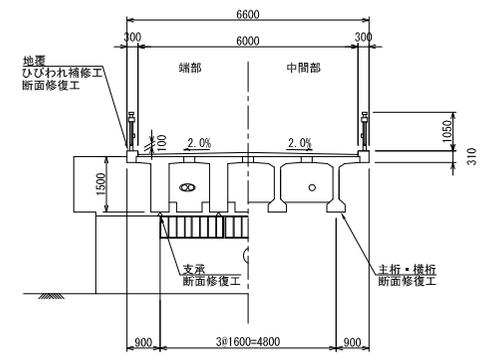
路線(河川)名	市道N182号線	図面番号	2
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所又は橋名	橋場橋	調布市 都市整備部 道路管理課	31
図面名称	一般図	縮尺 図示「ただし、()は、A1側に拡大時」	

橋場橋 補修一般図

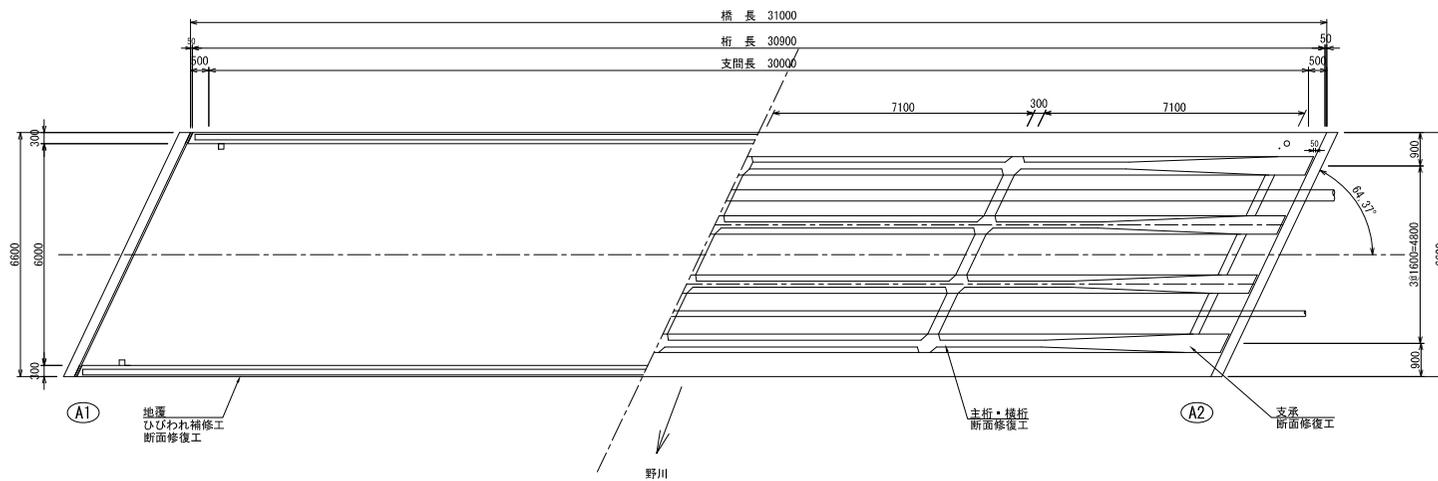
側面図 S=1/140 (1/70)



断面図 S=1/140 (1/70)



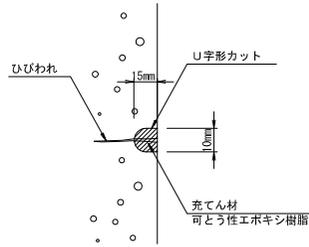
平面図 S=1/140 (1/70)



路線(河川)名	市道N182号線	
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工 事 箇 所 又 は 橋 名	橋 場 橋	
図 面 名 称	補修一般図	
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図 面 番 号 3
作 成 年 月 日	令和7年 7月 日	
調 布 市	都市整備部 道路管理課	3-1

橋場橋 標準工法図

ひびわれ補修工
充てん工法(参考図)

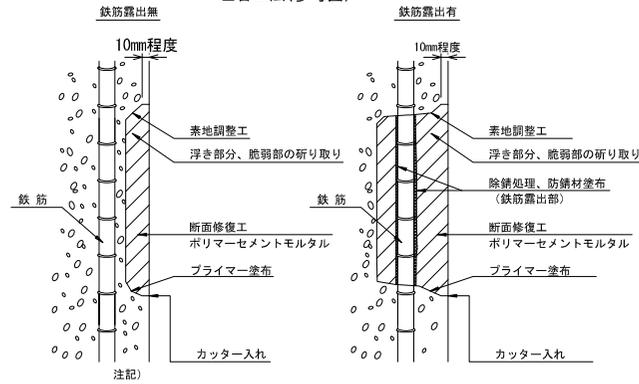


・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。

＜充てん工法 施工手順＞

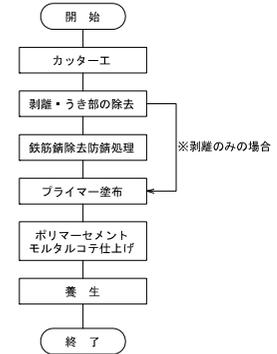


断面修復工
左官工法(参考図)



注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・断面修復は、脆弱部をたたき落としたき上で実施すること。

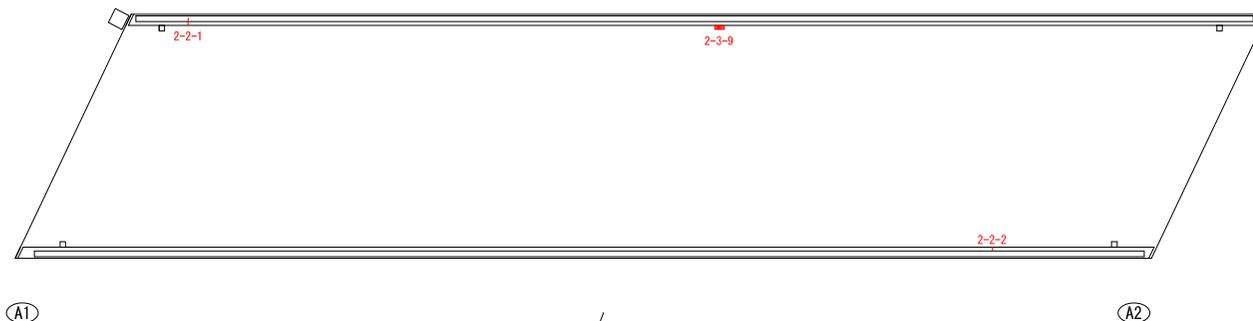
＜断面修復工 施工手順＞



路線(河川)名	市道N182号線
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事
工事箇所 又は橋名	橋場橋
図面名称	標準工法図
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	図面番号 4
	31

橋場橋 ひびわれ補修・断面修復工図

橋 面 S=1/140(1/70)

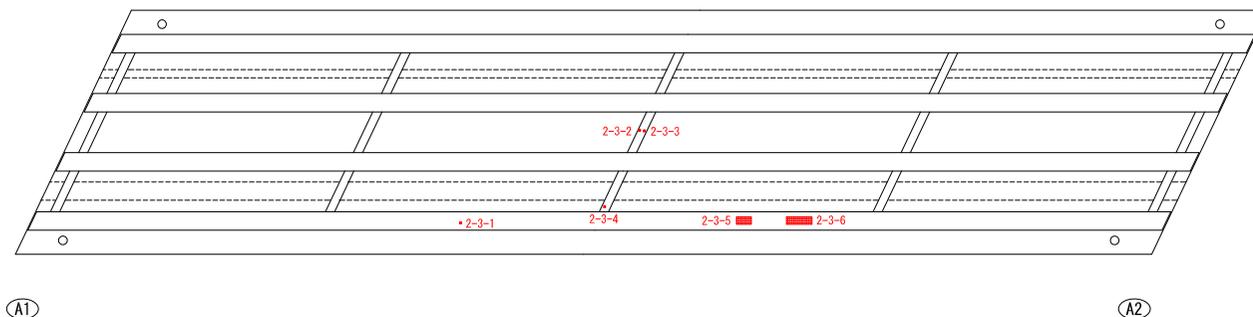


A1

A2

野 川

下 面 S=1/140(1/70)

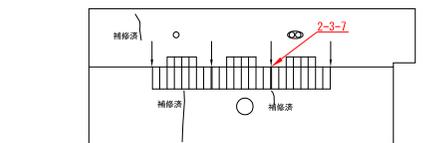


A1

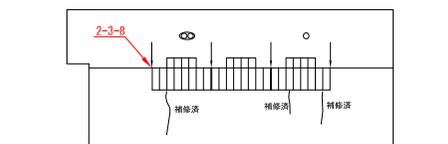
A2

野 川

A 1 橋台 S=1/140(1/70)



A 2 橋台 S=1/140(1/70)



補修数量

断面修復工(左官工法)

補修番号	部位	損傷寸法			鉄筋露出の有無	補修量(m ³)
		幅(m)	長さ(m)	深さ(m)		
2-3-1	主桁	0.05	0.05	0.05	有	0.001
2-3-2	横構	0.05	0.05	0.05	有	0.001
2-3-3	横構	0.05	0.05	0.05	有	0.001
2-3-4	横構	0.05	0.05	0.05	有	0.001
2-3-5	主桁	0.40	0.20	0.03	無	0.002
2-3-6	主桁	0.70	0.20	0.03	無	0.004
2-3-7	沓座モルタル	0.30	0.05	0.05	無	0.001
2-3-8	沓座モルタル	0.50	0.10	0.05	無	0.002
2-3-9	地覆(上流側)	0.25	0.10	0.10	無	0.002
合計						0.015

※鉄筋露出がある箇所は深さを50mm、無い場合は深さを30mmを仮定している。また、最小補修量は0.001m³とする。

補修数量

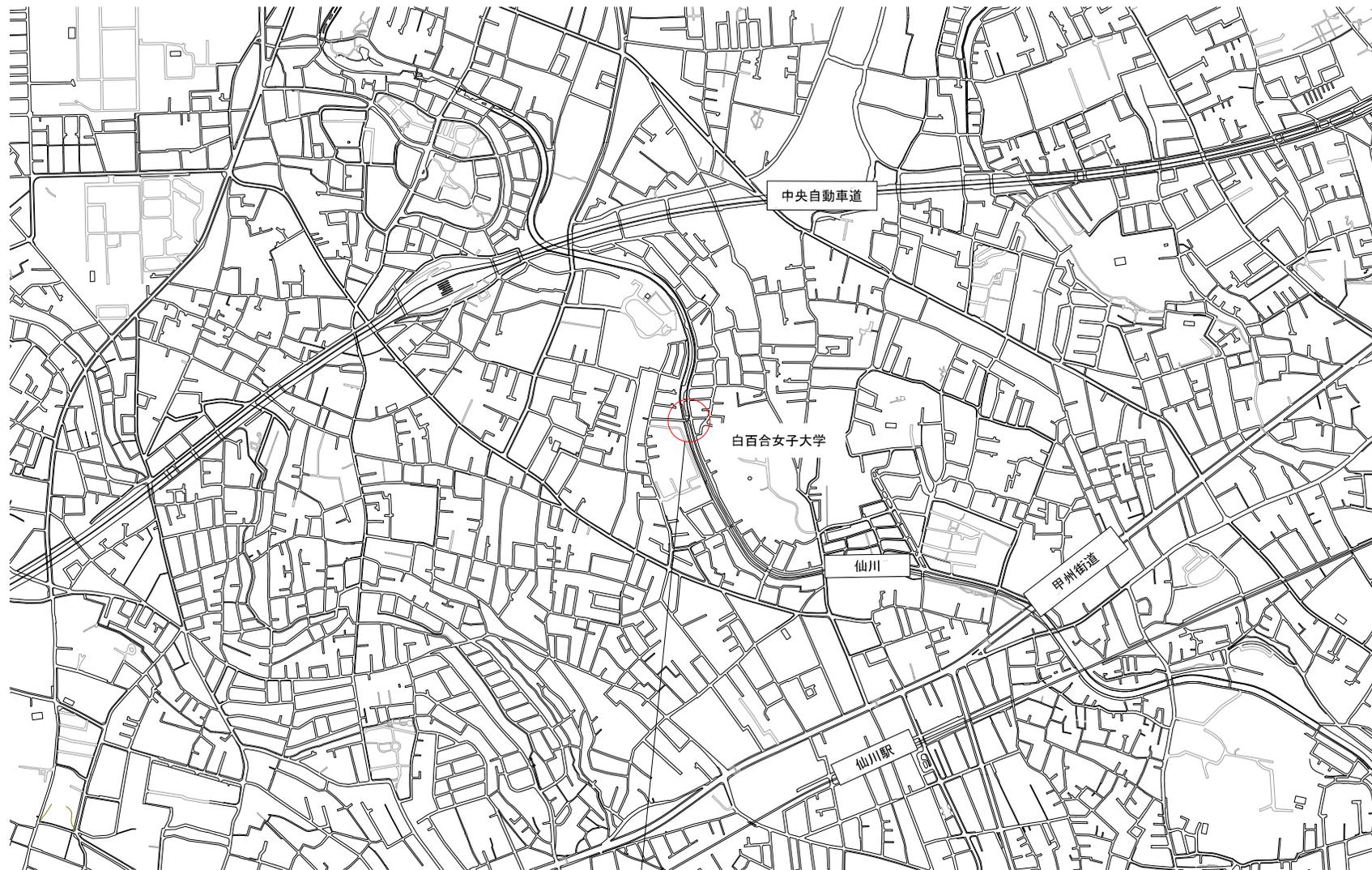
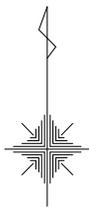
ひびわれ補修工(充てん工法)

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅(mm)	長さ(mm)
2-2-1	地覆(上流側)	0.2	200
2-2-2	地覆(下流側)	0.2	100
合計		0.2	300
合計(m)		0.30	

- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道N182号線	図 面 番 号	5
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1判に拡大時」
工 事 箇 所 又 は 橋 名	橋 場 橋	作 成 年 月 日	令 和 7 年 7 月 日
図 面 名 称	ひびわれ補修・断面修復図	調 布 市	都 市 整 備 部 道 路 管 理 課

千羽橋 位置図
S=1/10000(1/5000)

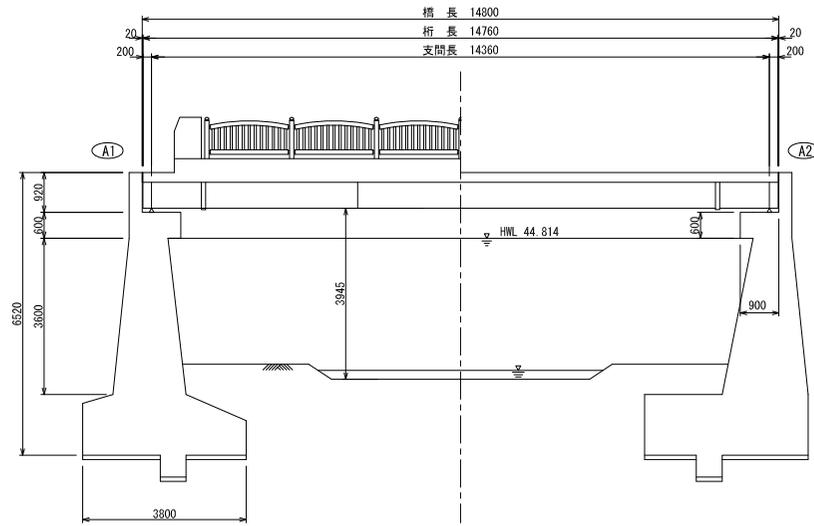


工事箇所
(市道E20号線 千羽橋)

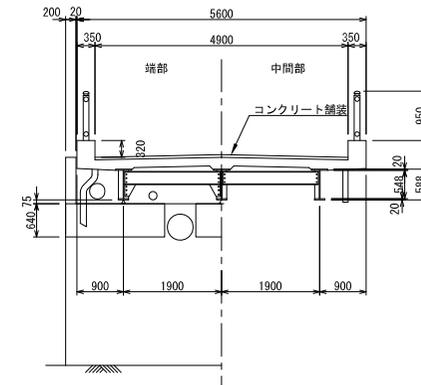
路線(河川)名	市道E20号線	
工事件名	令和7年度橋樑補修(注か4橋)補修工事	
工事箇所 又は橋名	千羽橋	
図面名称	位置図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1型に拡大時」	図面番号 6
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部 道路管理課	31

千羽橋 橋梁一般図

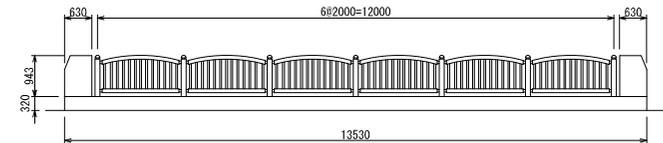
側面図 S=1/120(1/60)



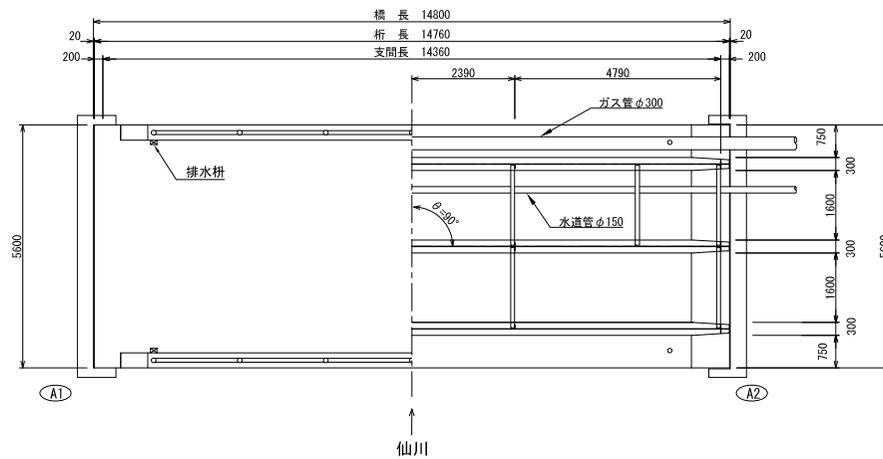
断面図 S=1/100(1/50)



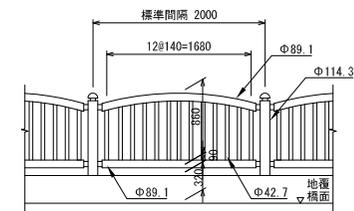
防護柵側面図 S=1/120(1/60)



平面図 S=1/120(1/60)



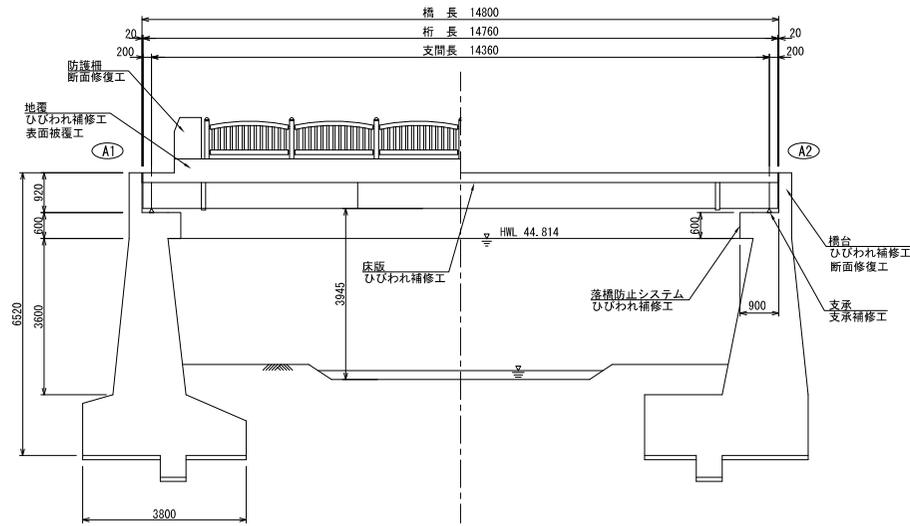
防護柵断面図 S=1/60(1/30)



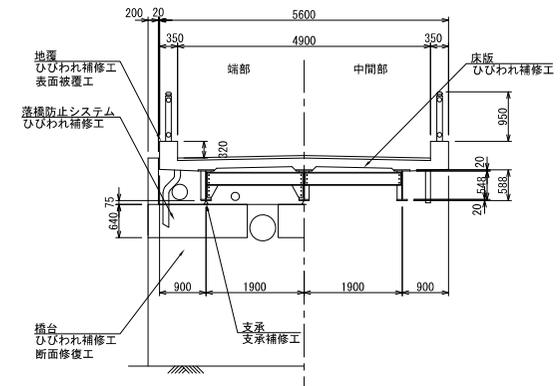
路線(河川)名	市道E20号線	図面番号	7
工事件名	令和7年度橋樑橋注か4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所 又は橋名	千羽橋	調布市	都市整備部 道路管理課
図面名称	一般図	31	

千羽橋 補修一般図

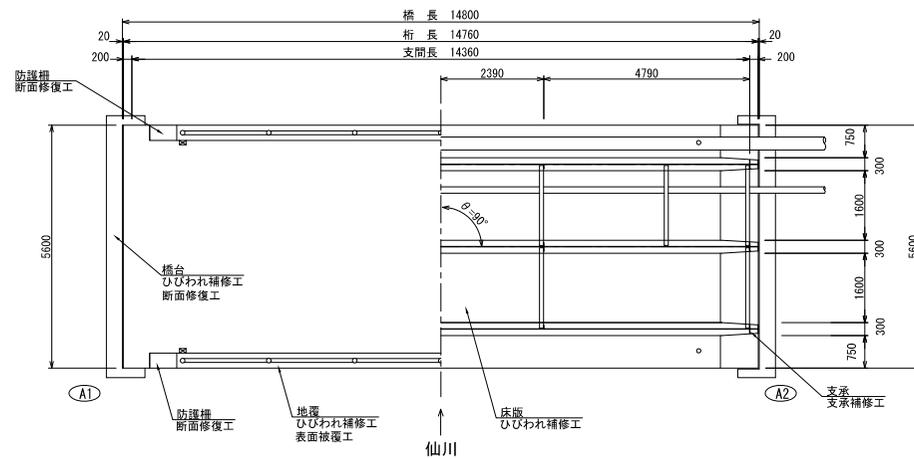
側面図 S=1/120 (1/60)



断面図 S=1/100 (1/50)



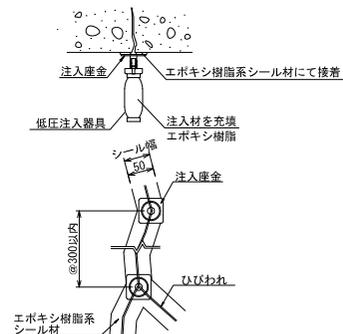
平面図 S=1/120 (1/60)



路線(河川)名	市道E20号線	
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所又は橋名	千羽橋	
図面名称	補修一般図	
縮尺	図示「ただし、()は、A1側に拡大時」	図面番号
作成年月日	令和7年 7月 日	8
調布市 都市整備部 道路管理課		31

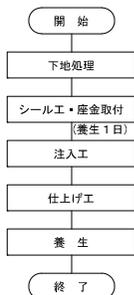
千羽橋 標準工法図

ひびわれ補修工 低圧注入工法 (参考図)

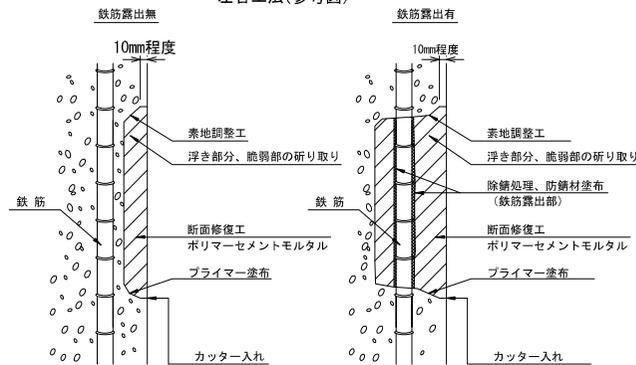


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・損傷状況により、注入器具間隔を変更する場合は別途協議とする。

<低圧注入工法 施工手順>

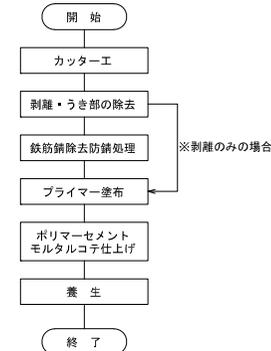


断面修復工 左官工法 (参考図)

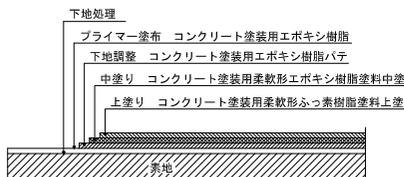


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・断面修復は、脆弱部をたき落とした上で実施すること。
 ・はつり範囲に鉄筋がある場合は、素地調整のため鉄筋の裏側15mm程度まではつり、防錆処理を施すこと。

<断面修復工 施工手順>



表面処理工 表面被覆工法 (参考図)



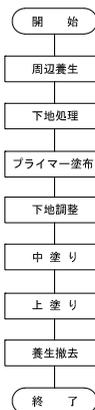
塗装工程	仕様	使用量 (kg/m ²)	目標膜厚 (μm)	塗装方法
1	下地処理	—	—	—
2	プライマー塗布	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー 0.10	—	スプレー (はけ・ローラー)
3	下地処理	コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテ 0.30	—	へら
4	中塗り	コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗 0.32 (0.26)	60	スプレー (はけ・ローラー)
5	上塗り	コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗 0.15 (0.12)	30	スプレー (はけ・ローラー)

※() 内は、はけ・ローラーを仕様の場合

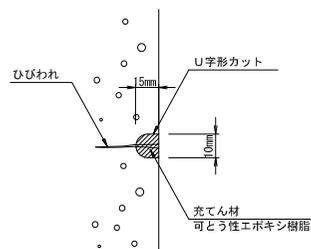
出典：【鋼道路橋防食便覧(平成26年) (社)日本道路協会】II-42頁

・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・含水率が9%以下であること。
 ・材料等の仕様はCC-B塗装の規格に順ずること。

<表面被覆工法 施工手順>



ひびわれ補修工 充てん工法 (参考図)



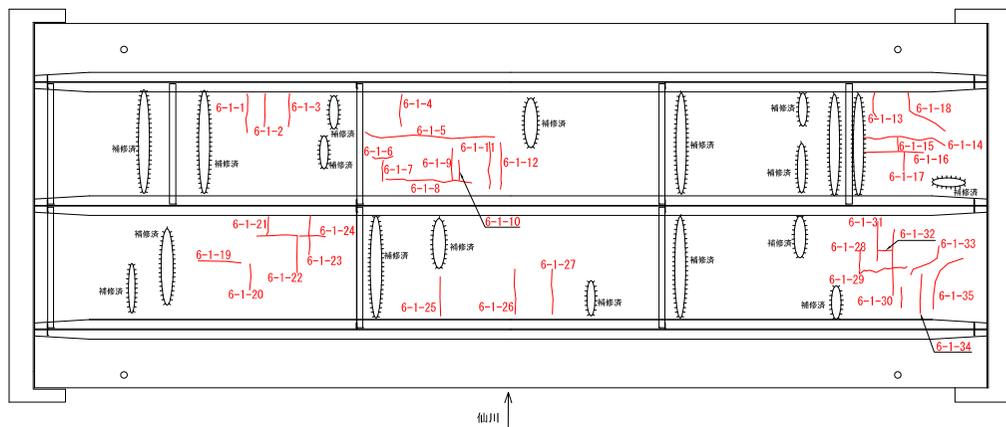
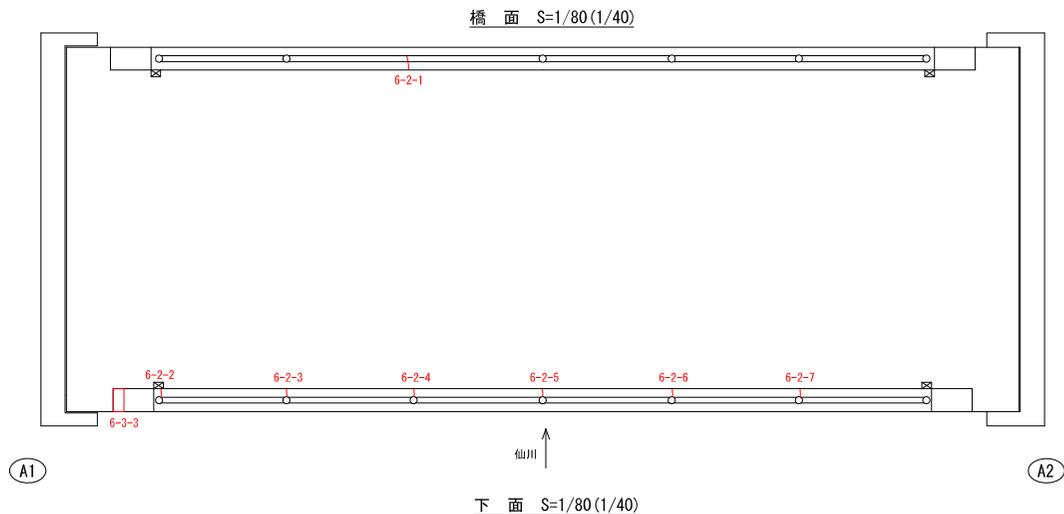
・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。

<充てん工法 施工手順>

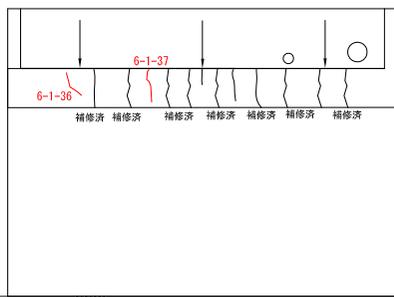


路線(河川)名	市道E20号線
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事
工事箇所又は橋名	千羽橋
図面名称	標準工法図
縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	図面番号 9

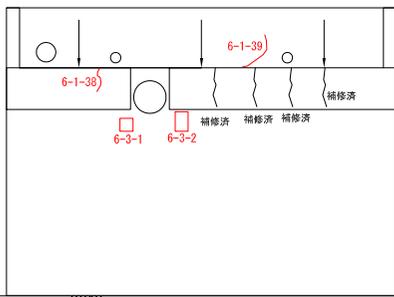
千羽橋 ひびわれ・断面修復工図



A1 橋台 S=1/80(1/40)



A2 橋台 S=1/80(1/40)



補修数量

ひびわれ補修工(低圧注入工法)

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (mm)
6-1-1	床版	0.2	600
6-1-2	床版	0.2	500
6-1-3	床版	0.2	500
6-1-4	床版	0.2	500
6-1-5	床版	0.2	2000
6-1-6	床版	0.2	300
6-1-7	床版	0.2	300
6-1-8	床版	0.2	1200
6-1-9	床版	0.2	500
6-1-10	床版	0.2	300
6-1-11	床版	0.2	700
6-1-12	床版	0.3	700
6-1-13	床版	0.2	400
6-1-14	床版	0.2	1300
6-1-15	床版	0.2	200
6-1-16	床版	0.2	900
6-1-17	床版	0.2	300
6-1-18	床版	0.3	1000
6-1-19	床版	0.2	600
6-1-20	床版	0.2	400
6-1-21	床版	0.2	300
小計(mm)		13500	

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (mm)
6-1-22	床版	0.2	1200
6-1-23	床版	0.2	600
6-1-24	床版	0.2	400
6-1-25	床版	0.2	600
6-1-26	床版	0.2	650
6-1-27	床版	0.2	650
6-1-28	床版	0.2	350
6-1-29	床版	0.3	800
6-1-30	床版	0.2	1000
6-1-31	床版	0.2	600
6-1-32	床版	0.2	200
6-1-33	床版	0.2	700
6-1-34	床版	0.2	600
6-1-35	床版	0.2	1000
6-1-36	落橋防止システム	0.2	450
6-1-37	落橋防止システム	0.2	500
6-1-38	落橋防止システム	0.2	400
6-1-39	A2橋台(胸壁)	0.3	700
小計(mm)		11400	
合計(mm)		24900	
合計(m)		24.90	

補修数量

ひびわれ補修工(充てん工法)

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (m)
6-2-1	地覆(下流側)	0.2	300
6-2-2	地覆(上流側)	0.2	400
6-2-3	地覆(上流側)	0.2	400
6-2-4	地覆(上流側)	0.2	400
6-2-5	地覆(上流側)	0.2	400
6-2-6	地覆(上流側)	0.2	400
6-2-7	地覆(上流側)	0.2	400
合計(mm)		2700	
合計(m)		2.70	

補修数量

断面修復工(左官工法)

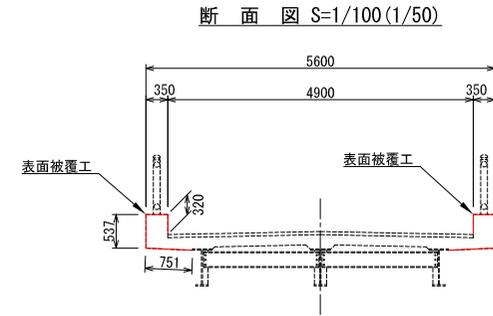
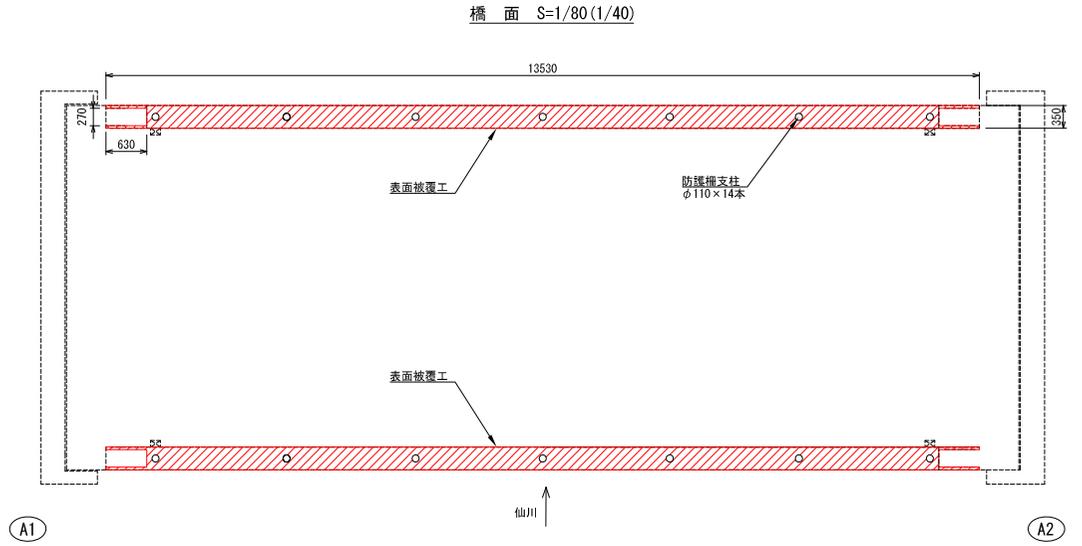
補修番号	部位	損傷寸法			鉄筋露出の有無	補修量(m ³)
		幅(m)	長さ(m)	深さ(m)		
6-3-1	A2橋台(壁壁)	0.20	0.20	0.03	無	0.001
6-3-2	A2橋台(壁壁)	0.20	0.30	0.03	無	0.001
6-3-3	防護柵(親柱)	0.63	0.33	0.03	無	0.006
合計						0.008

※鉄筋露出がある箇所は深さを50mm、無い場合は深さを30mmを仮定している。また、最小補修量は0.001m³とする。

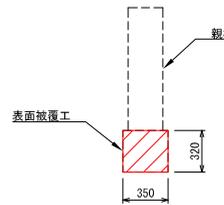
- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道E20号線	図面番号	10
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所又は橋名	千羽橋	調査	調布市 都市整備部 道路管理課
図面名称	ひびわれ補修・断面修復図	図示	「ただし、()は、A1判に拡大時」

千羽橋 表面被覆工図



地覆端部詳細図 S=1/40 (1/20)

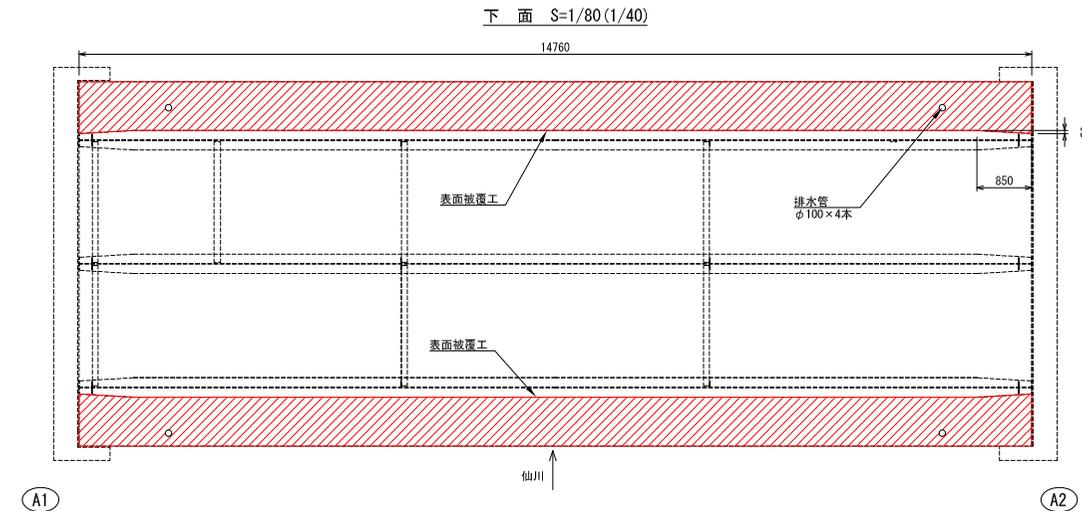


表面被覆工 塗装面積

地覆天端面積	350 × 13530 × 2 = 9471000mm ²
地覆内側面積	320 × 13530 × 2 = 8659200mm ²
地覆外側面積	537 × 13530 × 2 = 14531220mm ²
地覆下面+床版	(751 × 14760 × 2) + ((850 × 50 × 1/2) × 4) = 22254520mm ²
地覆端部	350 × 320 × 4 = 448000mm ²

親柱控除分 270 × 630 × 4 = 680400mm²
 支柱控除分 55 × 55 × 3.14 × 14 = 132979mm²
 排水管控除分 50 × 50 × 3.14 × 4 = 31400mm²

A=54519161mm²
 A=54.5m²



表面被覆工数量表

項目	規格	単位	数量	備考
既設被覆撤去工		m ²	54.50	
表面被覆工	CC-B塗装	m ²	54.50	

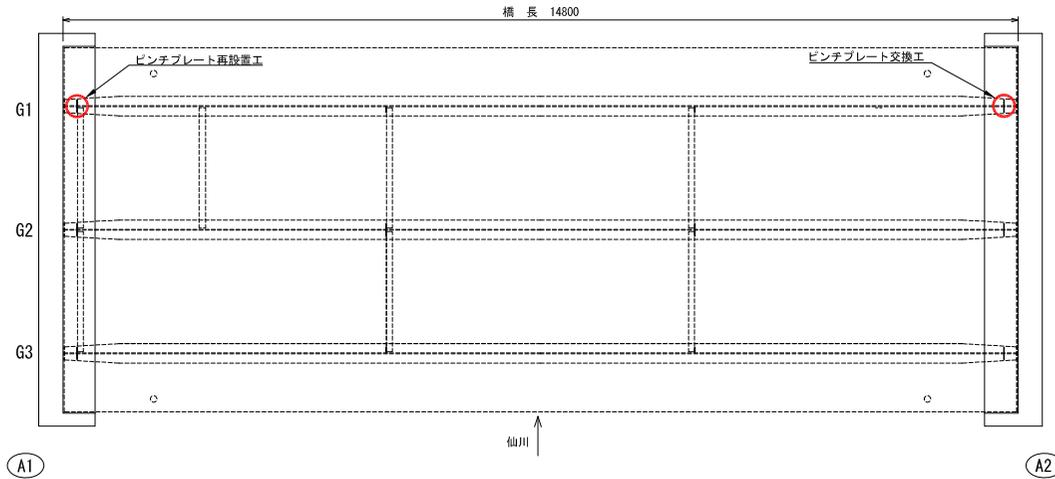
- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道E20号線	図面番号	11
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所又は橋名	千羽橋	調査	調布市 都市整備部 道路管理課
図面名称	表面被覆工図	縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」

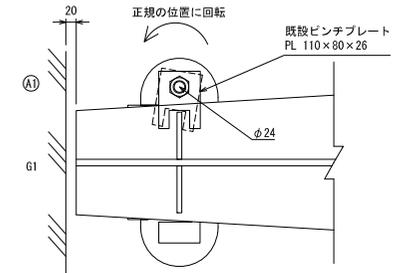
千羽橋 支承補修工図

(ピンチプレート交換工、ピンチプレート再設置工)

平面図 S=1/80(1/40)



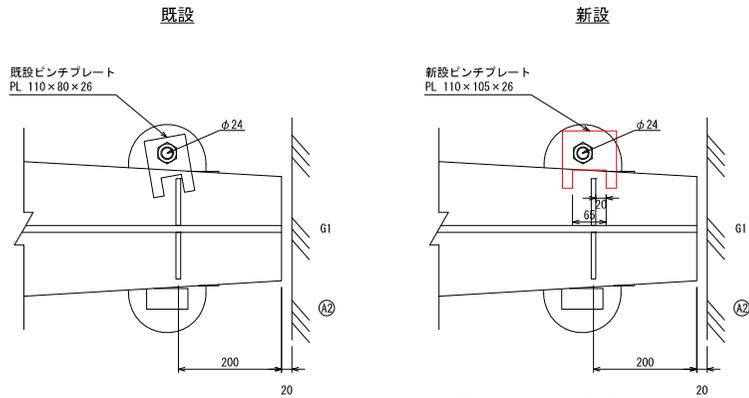
再設置工詳細図
S=1/10(1/5)



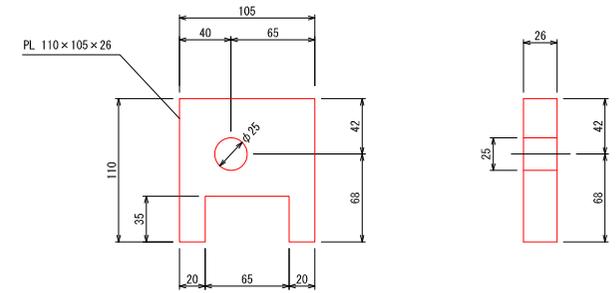
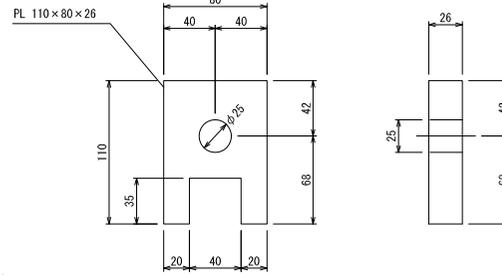
既設ピンチプレート
S=1/4(1/2)

新設ピンチプレート
S=1/4(1/2)

ピンチプレート交換工詳細図
S=1/10(1/5)



※A2側ピンチプレートを交換する。
工場塗装は錆止めのみとし、現場塗装は他部材の
塗替塗装と同時に実施する。



支承補修工数量表

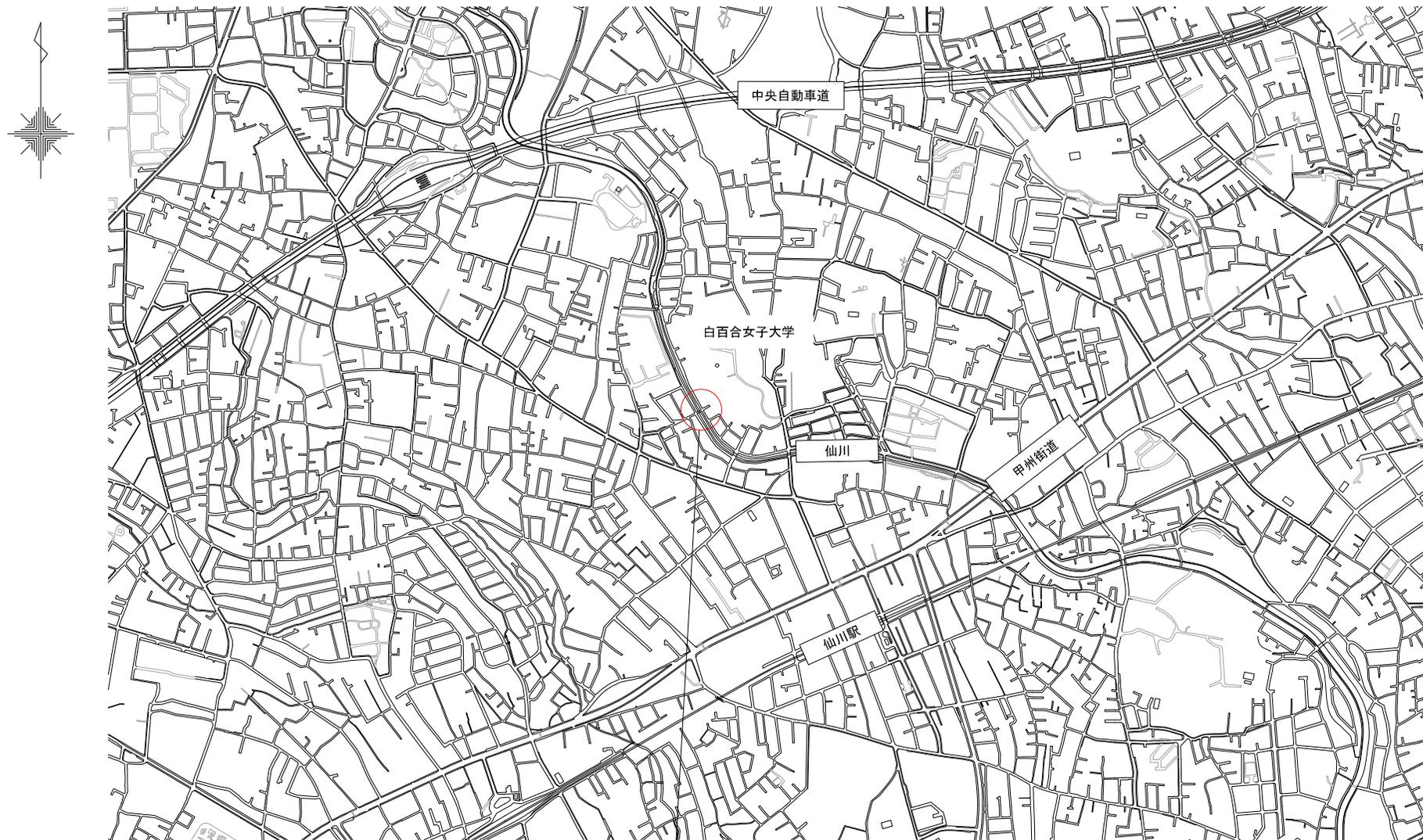
項目	規格	単位	数量	備考
ピンチプレート交換工		箇所	1	
ピンチプレート再設置工		箇所	1	
ピンチプレート制作	110 x 105 x 26	ヶ	1	SS400

※ 製作にあたっては、現地計測にて寸法の確認を行うこと。

- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。
図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。
工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道E20号線	図面番号	12
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所 又は橋名	千羽橋	調布市 都市整備部 道路管理課	31
図面名称	支承補修工図 (ピンチプレート交換工、ピンチプレート再設置工)		
縮尺	図示 「ただし、()は、A1側に拡大時」		

中条橋 位置図
S=1/10000(1/5000)

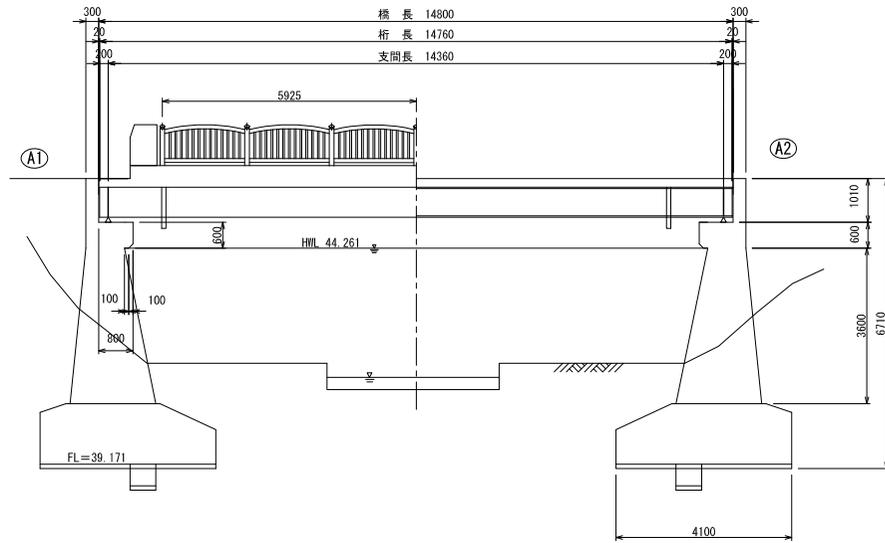


工事箇所
(市道E3-2号線 中条橋)

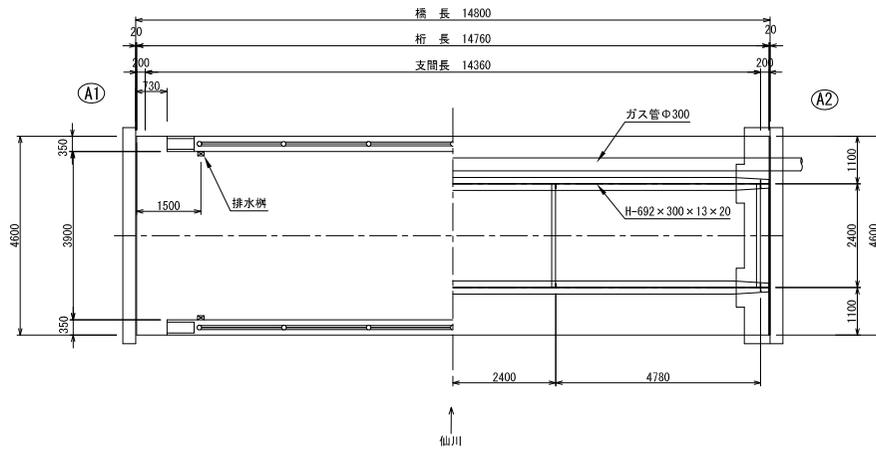
路線(河川)名	市道E3-2号線	
工事件名	令和7年度橋樑橋柱か4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	中条橋	
図面名称	位置図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1割に拡大時」	図面番号 13
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部	道路管理課

中条橋 橋梁一般図

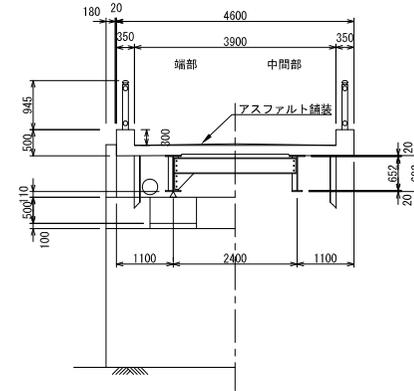
側面図 S=1/120(1/60)



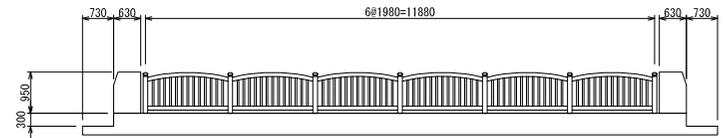
平面図 S=1/120(1/60)



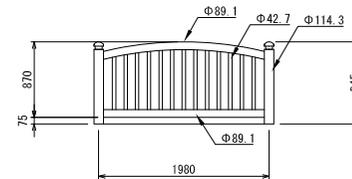
断面図 S=1/100(1/50)



防護柵側面図 S=1/120(1/60)



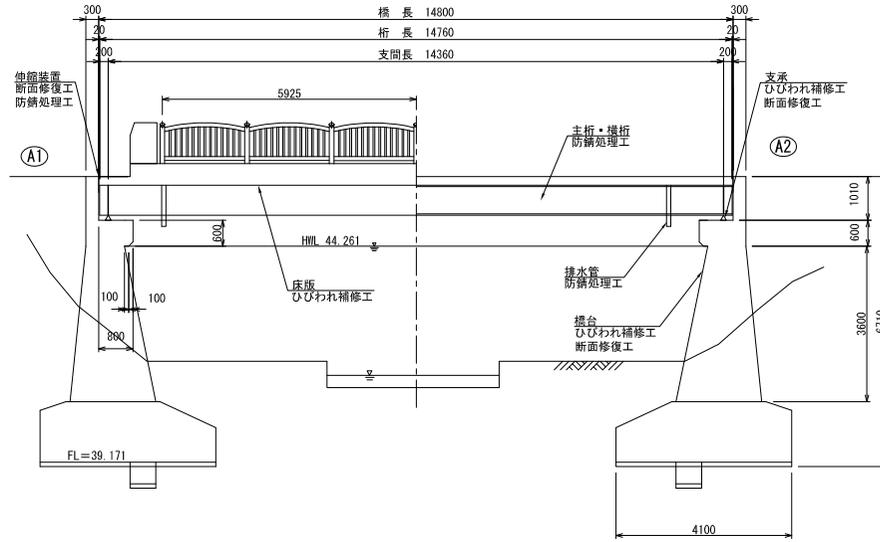
防護柵断面図 S=1/60(1/30)



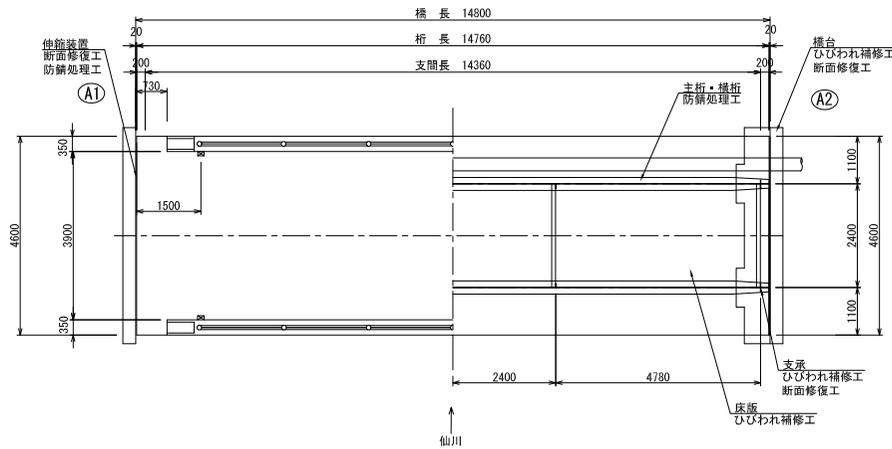
路線(河川)名	市道E3-2号線	
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	中条橋	
図面名称	一般図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図面番号 14
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市 都市整備部 道路管理課		31

中条橋 補修一般図

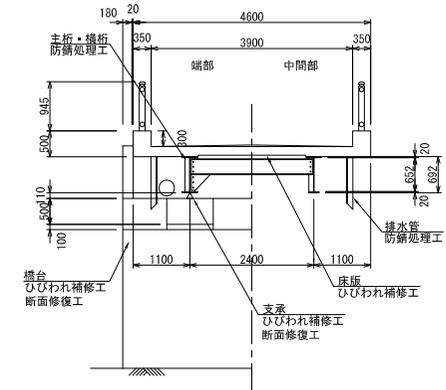
側面図 S=1/120(1/60)



平面図 S=1/120(1/60)



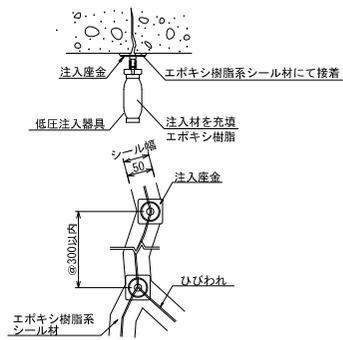
断面図 S=1/100(1/50)



路線(河川)名	市道E3-2号線	図面番号 15
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	中条橋	作成年月日 令和7年 7月 日
図面名称	補修一般図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1用紙拡大時」	31
調布市	都市整備部 道路管理課	

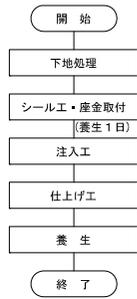
中条橋 標準工法図

ひびわれ補修工 低圧注入工法 (参考図)

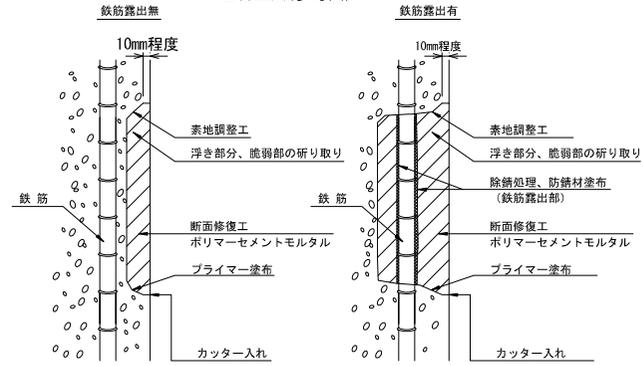


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・損傷状況により、注入器具間隔を変更する場合は別途協議とする。

<低圧注入工法 施工手順>

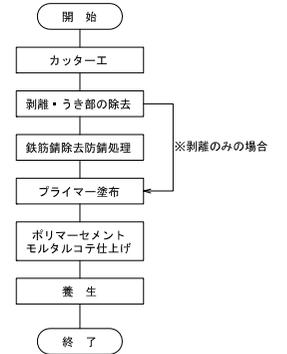


断面修復工 左官工法 (参考図)

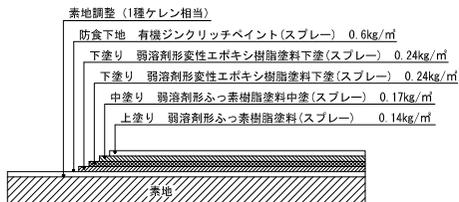


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
 ・はつり範囲に鉄筋がある場合は、素地調整のため鉄筋の裏側15mm程度まではつり、防錆処理を施すこと。

<断面修復工 施工手順>



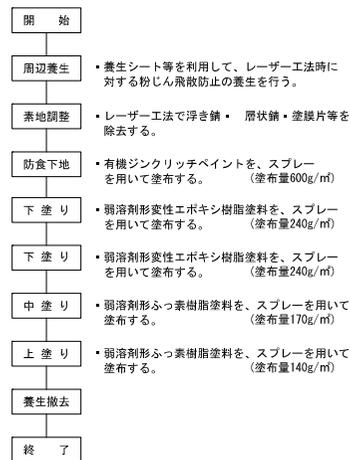
塗装塗替工詳細図 (Rc-I 塗装系)



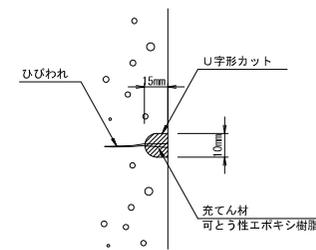
塗装工程	仕様	使用量
1	素地調整 1種ケレン相当	
2	防食下地 有機ジンクリッチペイント	0.60 kg/m ²
3	下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24 kg/m ²
4	中塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	0.17 kg/m ²
5	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.14 kg/m ²
6	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	0.14 kg/m ²

出典：【鋼道橋補修防食便覧 (平成26年) (社)日本道路協会】II-118頁

Rc-I 塗装系の場合



ひびわれ補修工 充てん工法 (参考図)



・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。

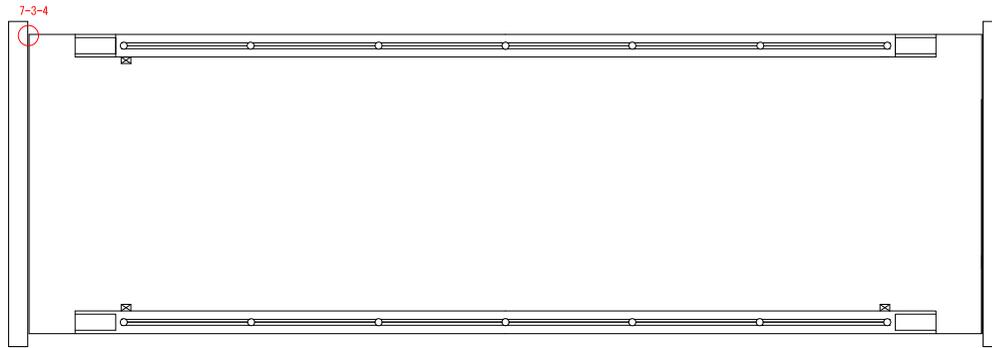
<充てん工法 施工手順>



路線(河川)名	市道E3-2号線	図面番号	16
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所 又は橋名	中条橋	調査市	都市整備部 道路管理課
図面名称	標準工法図	31	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」		

中条橋 ひびわれ補修・断面修復工図

橋面 S=1/80(1/40)

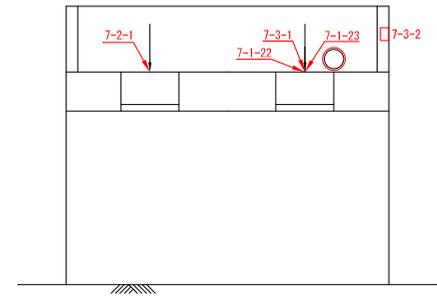


A1

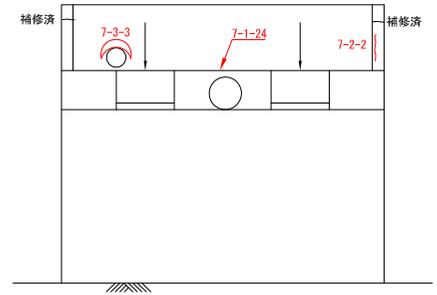
↑
仙川

A2

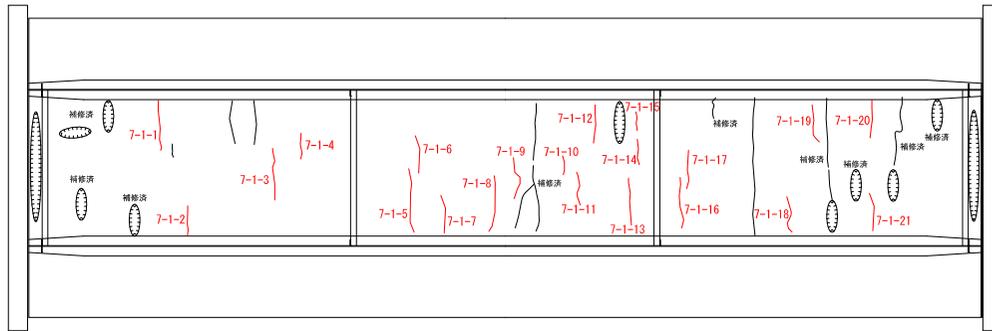
A1橋台 S=1/80(1/40)



A2橋台 S=1/80(1/40)



下面 S=1/80(1/40)



A1

↑
仙川

A2

補修数量
ひびわれ補修工(低圧注入工法)

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (mm)
7-1-1	床版	0.2	800
7-1-2	床版	0.2	450
7-1-3	床版	0.2	800
7-1-4	床版	0.2	400
7-1-5	床版	0.3	1000
7-1-6	床版	0.2	600
7-1-7	床版	0.2	600
7-1-8	床版	0.2	900
7-1-9	床版	0.2	700
7-1-10	床版	0.2	300
7-1-11	床版	0.2	500
7-1-12	床版	0.2	600
7-1-13	床版	0.2	700
小計(mm)			8350

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (mm)
7-1-14	床版	0.2	400
7-1-15	床版	0.2	300
7-1-16	床版	0.2	800
7-1-17	床版	0.2	600
7-1-18	床版	0.2	600
7-1-19	床版	0.2	600
7-1-20	床版	0.3	600
7-1-21	床版	0.2	600
7-1-22	沓座モルタル	0.5	100
7-1-23	沓座モルタル	0.5	100
7-1-24	橋座面	0.3	500
小計(mm)			5200
合計(mm)			13550
合計(m)			13.55

補修数量
断面修復工(左官工法)

補修番号	部位	損傷寸法			鉄筋露出の有無	補修量(m ³)
		幅(m)	長さ(m)	深さ(m)		
7-3-1	沓座モルタル	0.10	0.30	0.05	無	0.001
7-3-2	A1橋台(翼壁)	0.20	0.20	0.03	無	0.001
7-3-3	A2橋台(胸壁)	0.45	0.10	0.03	無	0.001
7-3-4	伸縮装置	0.20	0.30	0.03	無	0.001
合計						0.004

※鉄筋露出がある箇所は深さを50mm、無い場合は深さ30mmを仮定している。また、最小補修量は0.001m³とする。

補修数量

ひびわれ補修工(充てん工法)

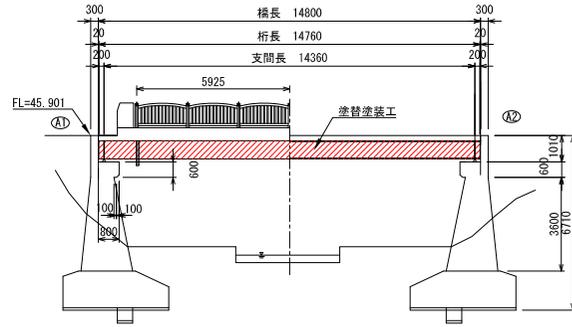
補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅 (mm)	長さ (mm)
7-2-1	沓座モルタル	1.5	100
7-2-2	A2橋台(翼壁)	5.0	400
合計			500
合計(m)			0.50

路線(河川)名	市道E3-2号線
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事
工事箇所又は橋名	中条橋
図面名称	ひびわれ補修・断面修復工図
縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	

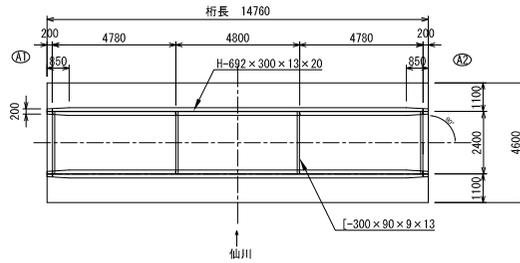
中条橋 防錆処理工図 (その1)

(塗替塗装工)

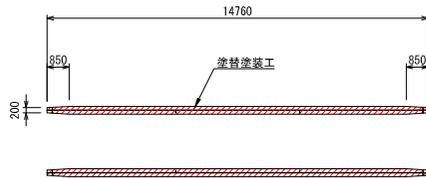
側面図 S=1/200(1/100)



平面図 S=1/200(1/100)

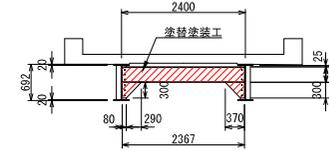


主桁詳細図 S=1/200(1/100)



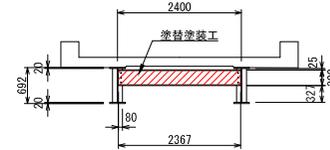
主桁
1. 2-H692 x 300 x 13 x 20 x 14760 = 65.1m²
V-Stiff
1. 12-PL-90 x 9 x 652 = 1.4m²

断面図 (端横桁位置) S=1/100(1/50)



端横桁
1. 2-L-300 x 90 x 9 x 13 x 2367 = 4.3m²
2. 4-Gus-PL-600 x 9 x 370 = 0.5m²

断面図 (中間横桁位置) S=1/100(1/50)



中間横桁
1. 2-L-300 x 90 x 9 x 13 x 2367 = 4.1m²

防錆処理工数量表

項目	規格	単位	数量	備考
塗替剥離工	クリーンレーザー工法	m ²	76.0	
塗替塗装工	重防食塗装 Rc-1	m ²	76.0	

塗装数量表(上部工)

対象部位	塗装面積(m ²)
主桁	66.50
端横桁	4.80
中間横桁	4.10

- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地で測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の変差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。
- 溶融亜鉛メッキされた部材は今回の塗替塗装の範囲には含まないものとする。
- 塗装履歴板の仕様、設置位置については発注者と協議の上決定すること。

路線(河川)名	市道E3-2号線	図面番号	18
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	作成年月日	令和7年 7月 日
工事箇所又は橋名	中条橋	調査	調布市 都市整備部 道路管理課
図面名称	防錆処理工図(その1) (塗装撤替工)	図面番号	3-1

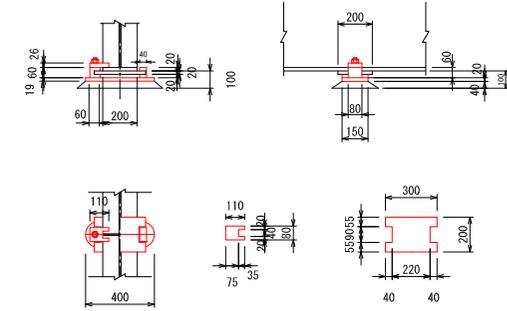
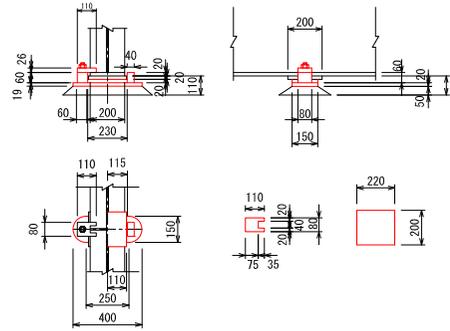
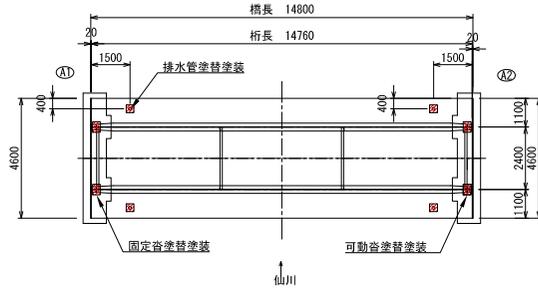
中条橋 防錆処理工図 (その2)

(塗替塗装工)

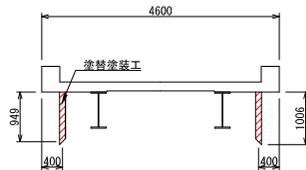
可動沓塗替塗装図 S=1/30(1/15)

固定沓塗替塗装図 S=1/30(1/15)

塗替塗装箇所図 S=1/200(1/100)



排水管塗替塗装図 S=1/100(1/50)



排水管 (4カ所) 塗装面積

1. 4-φ114×1006

A=114×3.14×1006=360108mm²(0.360m²)/カ所

可動沓 (2カ所) 塗装面積

本体 A1=250×150+3.14×75²×2-230×80=36763mm² (上面)

本体 A2=(250×2+2×3.14×75)×19=18449mm² (側面)

ストッパー A3=(80+60×2)×60=12000mm²

ストッパー A4=(80+40×2)×60=9600mm²

ピンチプレート A5=(110×2+80×2+35×2)×26=11700mm²

ソールプレート A6=220×200-80×230=25600mm² (下面)

ソールプレート A7=220×200-200×200=4000mm² (上面)

ソールプレート A8=(220×2+200×2-80×2)×20=13600mm² (側面)

計 A=131712mm²(0.132m²)/カ所

固定沓 (2カ所) 塗装面積

本体 A1=250×150+3.14×75²×2-230×80=36763mm² (上面)

本体 A2=(250×2+2×3.14×75)×19=18449mm² (側面)

ストッパー A3=(80+60×2)×60=12000mm²

ストッパー A4=(80+40×2)×60=9600mm²

ピンチプレート A5=(110×2+80×2+35×2)×26=11700mm²

ソールプレート A6=300×200-80×230=41600mm² (下面)

ソールプレート A7=300×200-200×200=2000mm² (上面)

ソールプレート A8=(300×2+200×2-90×2-40×4)×20=13200mm² (側面)

計 A=163313mm²(0.163m²)/カ所

塗装数量表 (支承+排水管)

対象部位	塗装面積(m ²)
可動沓	0.30
固定沓	0.30
排水管	1.40

塗装履歴板 (例)

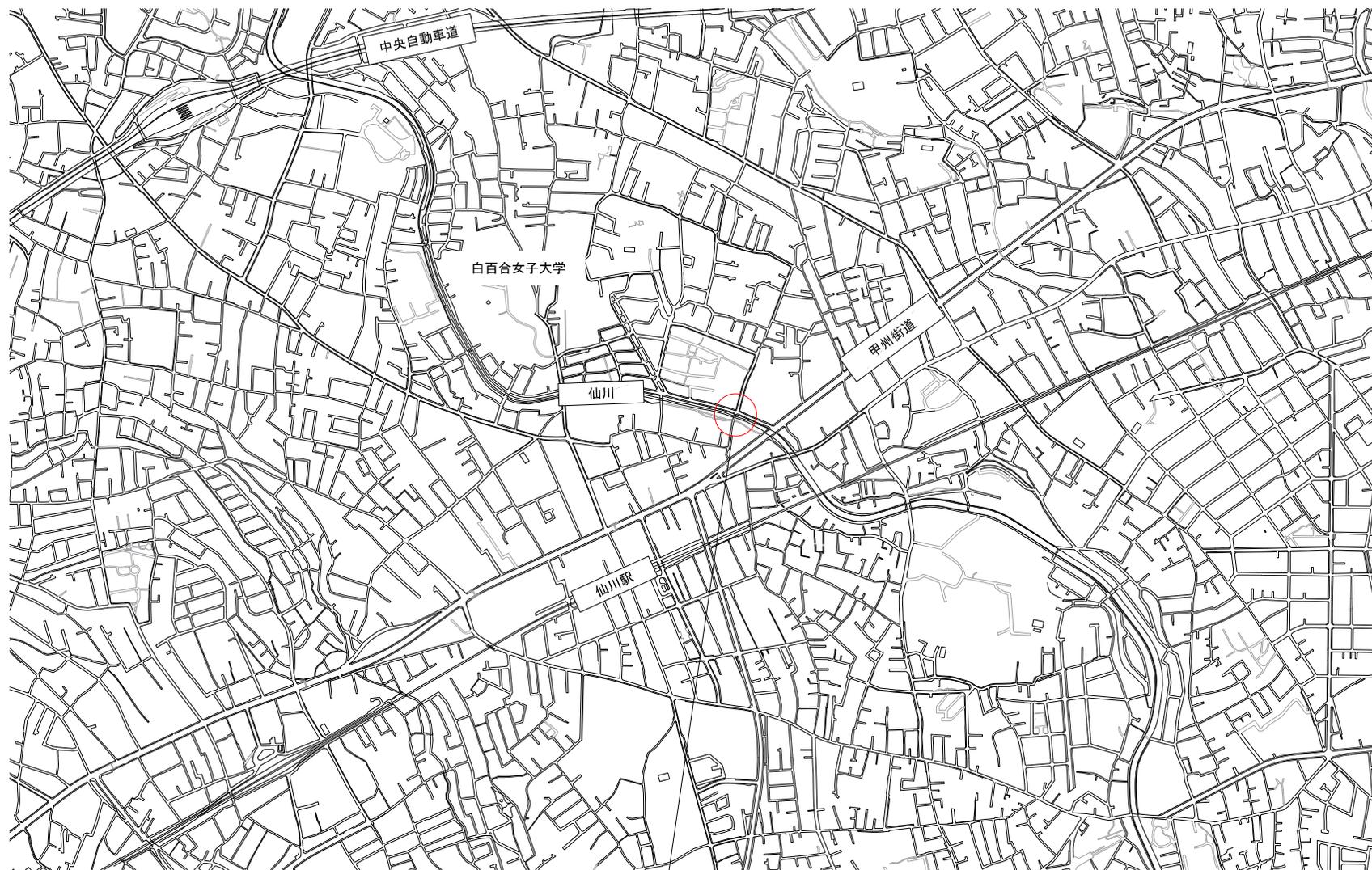
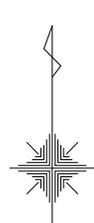
塗装年月	年月
塗装施工	○○○
塗料製造	○○○
塗装面積	主桁 ○○m ² 床版 ○○m ² 支承 ○○m ²
材質	塗装系 ○○
	下塗 ○○○ ○回塗
	下塗 ○○○ ○回塗
	下塗 ○○○ ○回塗
色番号	主桁 ○○ 床版 ○○ 支承 ○○

3. 塗装履歴板の仕様、設置位置については発注者と協議の上決定すること。

- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地に測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の際差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。
- 溶融亜鉛メッキされた部材は今回の塗替塗装の範囲には含まないものとする。
- 塗装履歴板の仕様、設置位置については発注者と協議の上決定すること。

路線(河川)名	市道E3-2号線
工事件名	令和7年度橋樑橋樑ほか4橋補修工事
工事箇所又は橋名	中条橋
図面名称	防錆処理工図(その2) (塗替塗装工)
縮尺	図示 「ただし、()は、A1割に拡大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	図面番号 19 31

柳川橋 位置図
S=1/10000(1/5000)

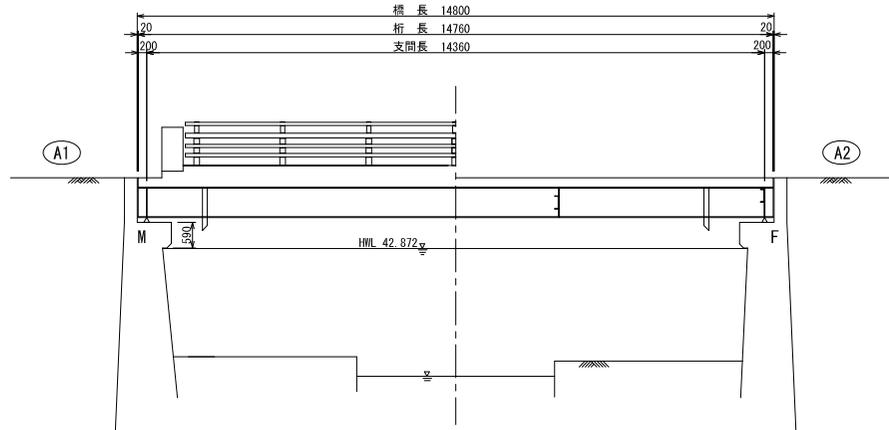


工事箇所
(市道E62号線 柳川橋)

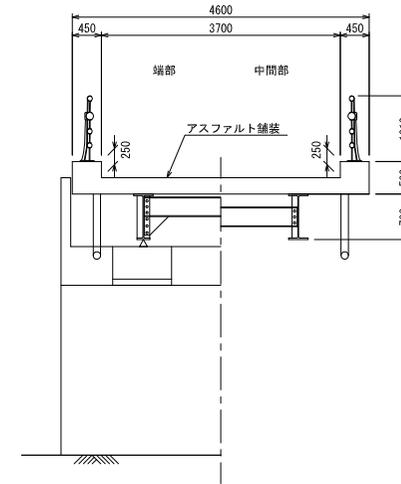
路線(河川)名	市道E62号線	
工事件名	令和7年度橋樑橋注か4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	柳川橋	
図面名称	位置図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1割に拡大時」	図面番号 20
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部	道路管理課
		31

柳川橋 橋梁一般図

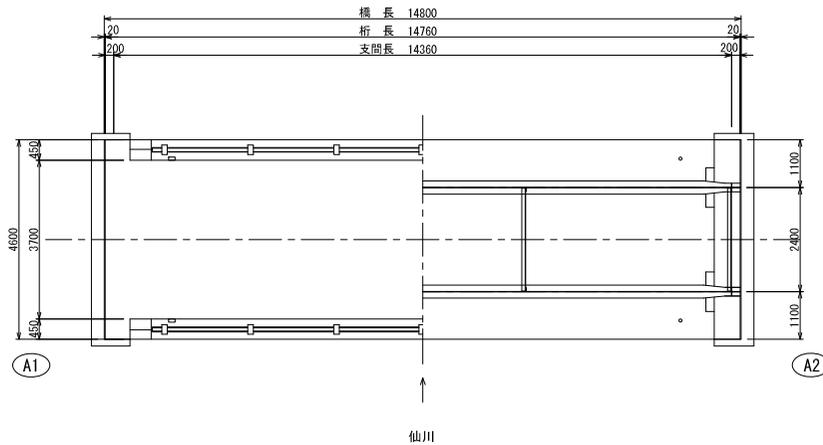
側面図 S=1/120(1/60)



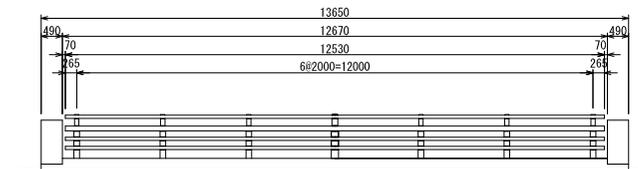
横断図 S=1/80(1/40)



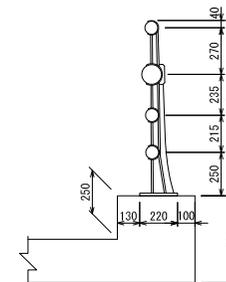
平面図 S=1/120(1/60)



防護柵側面図 S=1/120(1/60)



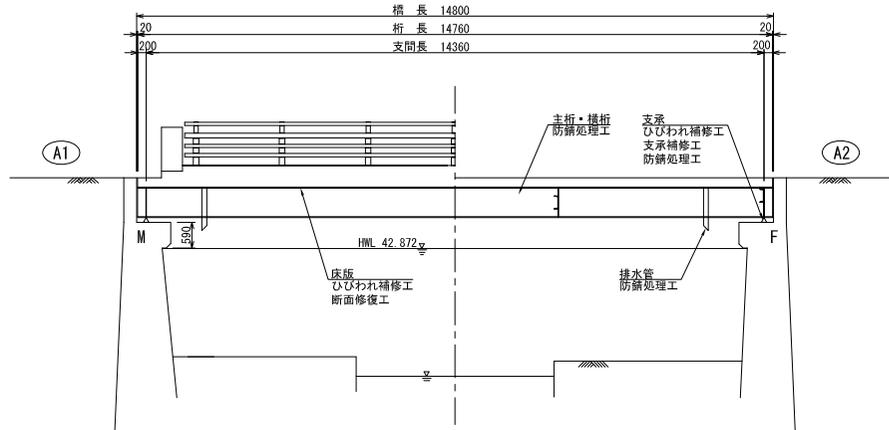
防護柵断面図 S=1/30(1/15)



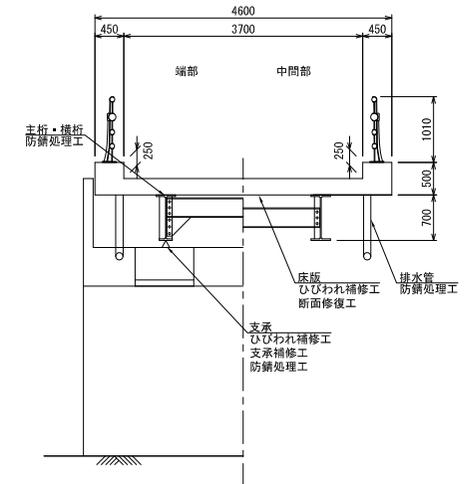
路線(河川)名	市道E 6 2号線	
工 事 件 名	令和7年度橋場標ほか4橋補修工事	
工 事 箇 所 又 は 橋 名	柳 川 橋	
図 面 名 称	一 般 図	
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1明に最大時」	図 面 番 号 2 1
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市 都市整備部 道路管理課	3 1	

柳川橋 補修一般図

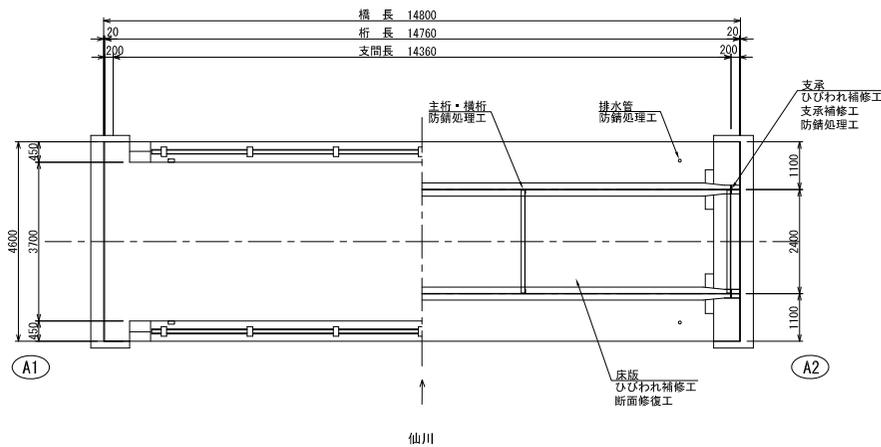
側面図 S=1/120 (1/60)



横断面図 S=1/80 (1/40)



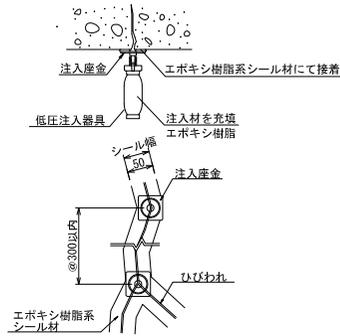
平面図 S=1/120 (1/60)



路線(河川)名	市道E 6 2号線	
工事件名	令和7年度橋場ほかに4橋補修工事	
工事箇所又は橋名	柳川橋	
図面名称	補修一般図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1明に最大時」	図面番号 22
作成年月日	令和7年 7月 日	31
調布市 都市整備部 道路管理課		

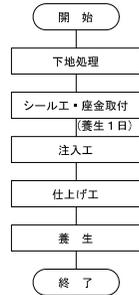
柳川橋 標準工法図

ひびわれ補修工 低圧注入工法 (参考図)

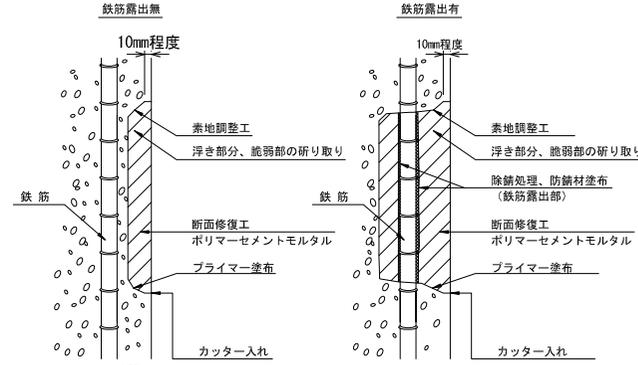


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・損傷状況により、注入器具間隔を変更する場合は別途協議とする。

<低圧注入工法 施工手順>

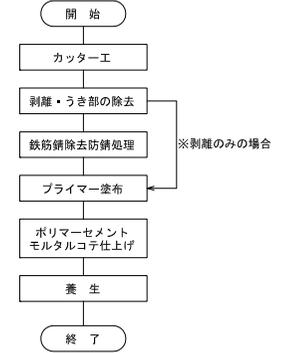


断面修復工 左官工法 (参考図)

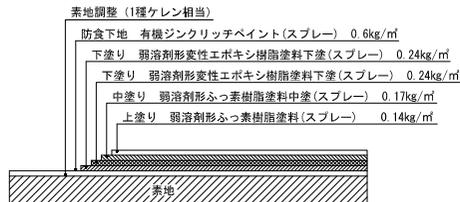


注記)
 ・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
 ・断面修復は、脆弱部をたたき落としした上で実施すること。
 ・はつり範囲に鉄筋がある場合は、素地調整のための鉄筋の裏側15mm程度まではつり、防錆処理を施すこと。

<断面修復工 施工手順>



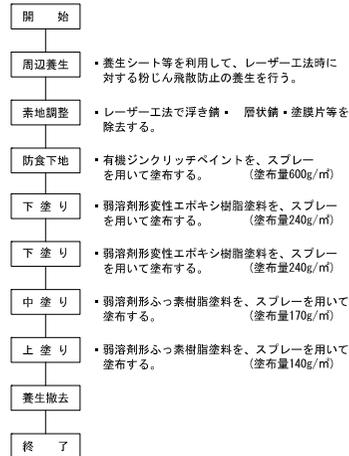
塗装塗替工詳細図 (Rc-I 塗装系)



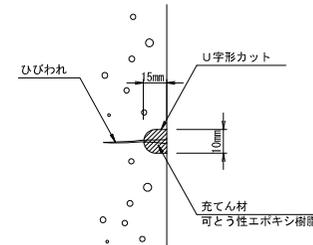
塗装工程	仕様	使用量
1	素地調整 1種ケレン相当	
2	防食下地 有機ジクロリッペン	0.60 kg/m ²
3	下塗り 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24 kg/m ²
4	中塗り 弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料中塗	0.17 kg/m ²
5	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	0.14 kg/m ²

出典：【鋼道路橋防食便覧(平成26年) (社)日本道路協会】Ⅱ-118頁

Rc-I 塗装系の場合



ひびわれ補修工 充てん工法 (参考図)



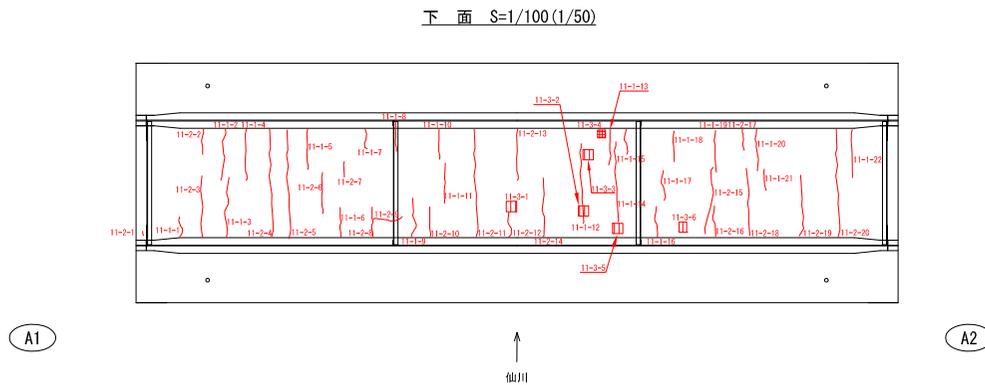
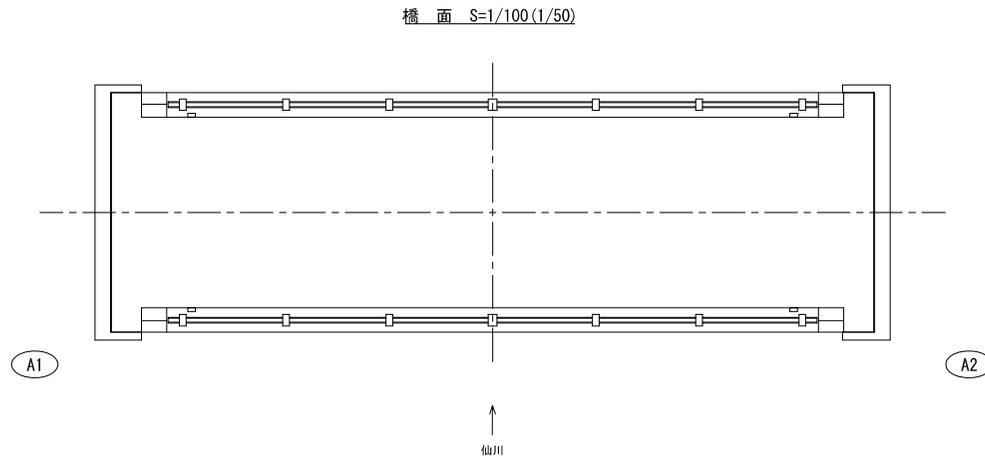
・施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。

<充てん工法 施工手順>



路線(河川)名	市道E62号線
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事
工事箇所 又は橋名	柳川橋
図面名称	標準工法図
縮尺	図示 「ただし、()は、A1明に最大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	

柳川橋 ひびわれ補修・断面修復図



補修数量
ひびわれ補修工(低圧注入工法)

補修番号	部位	損傷寸法		補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅(mm)	長さ(mm)			ひび割れ幅(mm)	長さ(mm)
11-1-1	床版	0.2	400	11-1-13	床版	0.2	700
11-1-2	床版	0.2	1000	11-1-14	床版	0.2	1500
11-1-3	床版	0.2	1200	11-1-15	床版	0.2	500
11-1-4	床版	0.2	1200	11-1-16	床版	0.2	600
11-1-5	床版	0.4	800	11-1-17	床版	0.2	600
11-1-6	床版	0.4	600	11-1-18	床版	0.2	600
11-1-7	床版	0.2	400	11-1-19	床版	0.2	800
11-1-8	床版	0.2	600	11-1-20	床版	0.3	800
11-1-9	床版	0.2	800	11-1-21	床版	0.2	400
11-1-10	床版	0.2	600	11-1-22	床版	0.2	1000
11-1-11	床版	0.2	800		小計(mm)		7500
11-1-12	床版	0.2	1500		合計(mm)		17400
	小計(mm)		9900		合計(m)		17.4

補修数量
ひびわれ補修工(充てん工法)

補修番号	部位	損傷寸法	
		ひび割れ幅(mm)	長さ(m)
11-2-1	容座モルタル	1.0	80
11-2-2	床版	0.2	500
11-2-3	床版	0.2	1500
11-2-4	床版	1.0	2100
11-2-5	床版	0.4	2100
11-2-6	床版	0.3	800
11-2-7	床版	0.2	300
11-2-8	床版	0.4	600
11-2-9	床版	0.2	600
11-2-10	床版	0.2	600
11-2-11	床版	0.4	2100
11-2-12	床版	0.3	600
11-2-13	床版	0.2	1000
11-2-14	床版	0.3	1200
11-2-15	床版	0.2	1300
11-2-16	床版	0.2	600
11-2-17	床版	0.2	400
11-2-18	床版	0.2	1300
11-2-19	床版	0.2	1200
11-2-20	床版	0.3	2100
	合計		20980
	合計(m)		20.9

補修数量

断面修復工(左官工法)

補修番号	部位	損傷寸法			鉄筋露出の有無	補修量(m ³)
		幅(m)	長さ(m)	深さ(m)		
11-3-1	床版	0.20	0.20	0.05	有	0.002
11-3-2	床版	0.20	0.20	0.05	有	0.002
11-3-3	床版	0.20	0.20	0.05	有	0.002
11-3-4	床版	0.15	0.15	0.03	無	0.001
11-3-5	床版	0.20	0.20	0.05	有	0.002
11-3-6	床版	0.15	0.20	0.05	有	0.001
	合計					0.010

※鉄筋露出がある箇所は深さを50mm、無い場合は深さ30mmを仮定している。また、最小補修量は0.001m³とする。

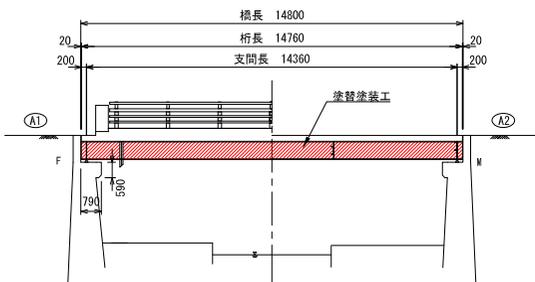
- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道E 6 2号線		
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事		
工事箇所又は橋名	柳川橋		
図面名称	ひびわれ補修・断面修復工		
縮尺	図示「ただし、()は、A1明に最大時」	図面番号	24
作成年月日	令和7年 7月 日		
調布市	都市整備部	道路管理課	31

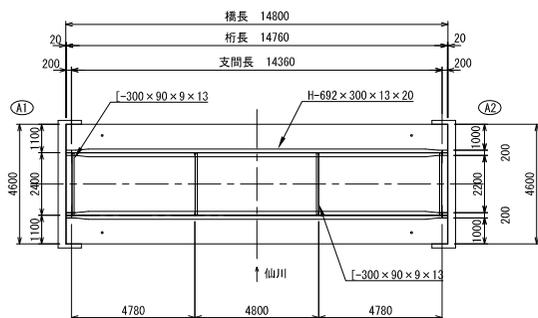
柳川橋 防錆処理工図 (その1)

(塗替塗装工)

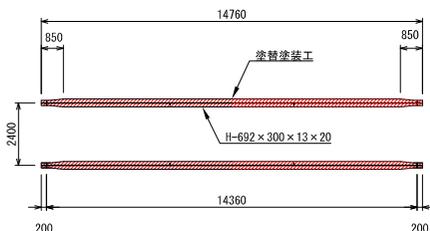
側面図 S=1/200(1/100)



平面図 S=1/200(1/100)



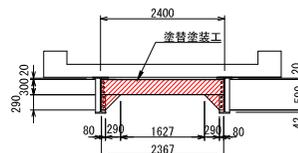
主桁詳細図 S=1/200(1/100)



主桁
1. 2-H692 x 300 x 13 x 20 x 14760 = 65.1m²

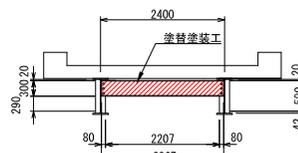
V-Stiff
1. 12-PL-90 x 9 x 652 = 1.4m²

断面図 (端横桁位置) S=1/100(1/50)



端横桁
1. 2-[300 x 90 x 9 x 13 x 2367 = 4.3m²
2. 4-Gus-PL-590 x 9 x 370 = 0.5m²

断面図 (端横桁位置) S=1/100(1/50)



中間横桁
1. 2-[300 x 90 x 9 x 13 x 2367 = 4.1m²

塗装履歴表 (例)

塗装年月	年	月
塗装施工	〇〇〇	
塗料製造	〇〇〇	
塗装面積	主桁 〇〇m ² 床版 〇〇m ² 支承 〇〇m ²	
材質	塗装系	〇〇
	下塗	〇〇〇 〇回塗
	下塗	〇〇〇 〇回塗
	下塗	〇〇〇 〇回塗
色番号	主桁 〇〇 床版 〇〇 支承 〇〇	

注記) 塗装履歴表の様、設置位置については発注者と協議の上決定す。

塗装数量表(上部工)

対象部位	塗装面積(m ²)
主桁	66.5
端横桁	4.8
中間横桁	4.1

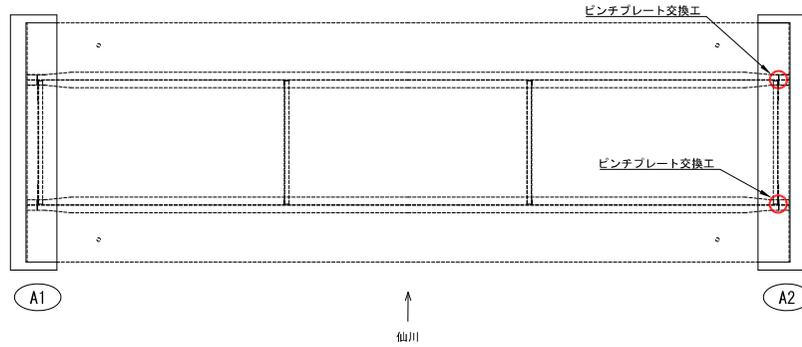
- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地で測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。
- 溶融亜鉛メッキされた部材は今回の塗替塗装の範囲には含まないものとする。
- 塗装履歴表の様、設置位置については発注者と協議の上決定すること。

路線(河川)名	市道E 6 2号線		
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事		
工 事 箇 所 又 は 橋 名	柳 川 橋		
図 面 名 称	防錆処理工(その1) (塗替塗装工)		
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1明に最大時」	図 面 番 号	2 5
作成年月日	令和7年 7月 日		
	調布市 都市整備部 道路管理課		3 1

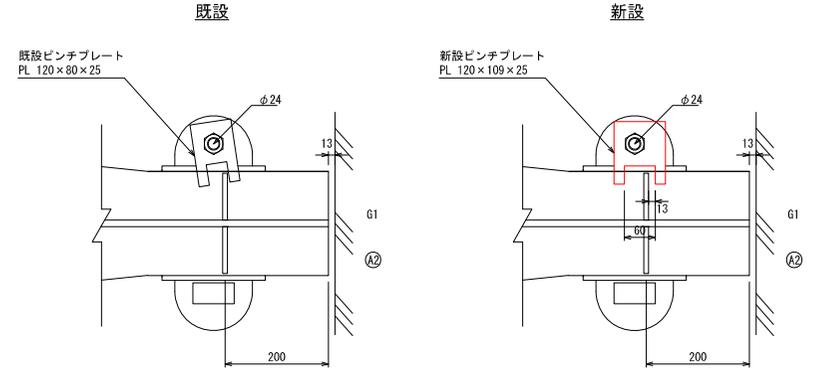
柳川橋 支承補修工図

(ピンチプレート交換工)

平面図 S=1/100(1/50)

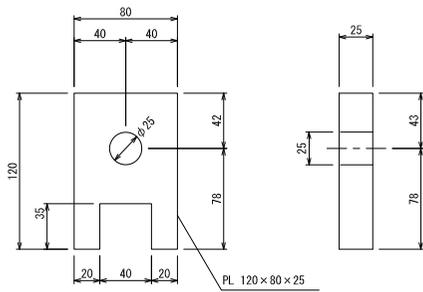


交換工詳細図 S=1/10(1/5)

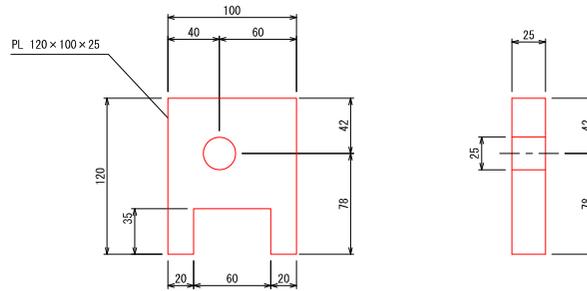


工場塗装は錆止めのみとし、現場塗装は他部材の塗替塗装と同時に実施する。

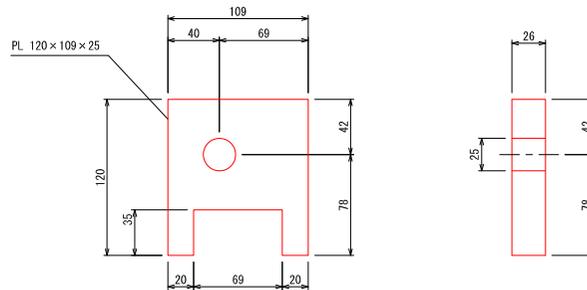
既設ピンチプレート S=1/4(1/2)



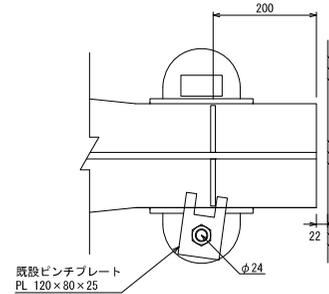
新設ピンチプレート (A2G1用) S=1/4(1/2)



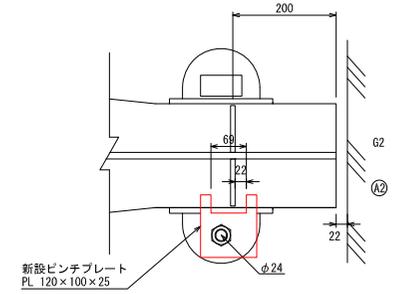
新設ピンチプレート (A2G2用) S=1/4(1/2)



既設



新設



工場塗装は錆止めのみとし、現場塗装は他部材の塗替塗装と同時に実施する。

支承補修工数量表

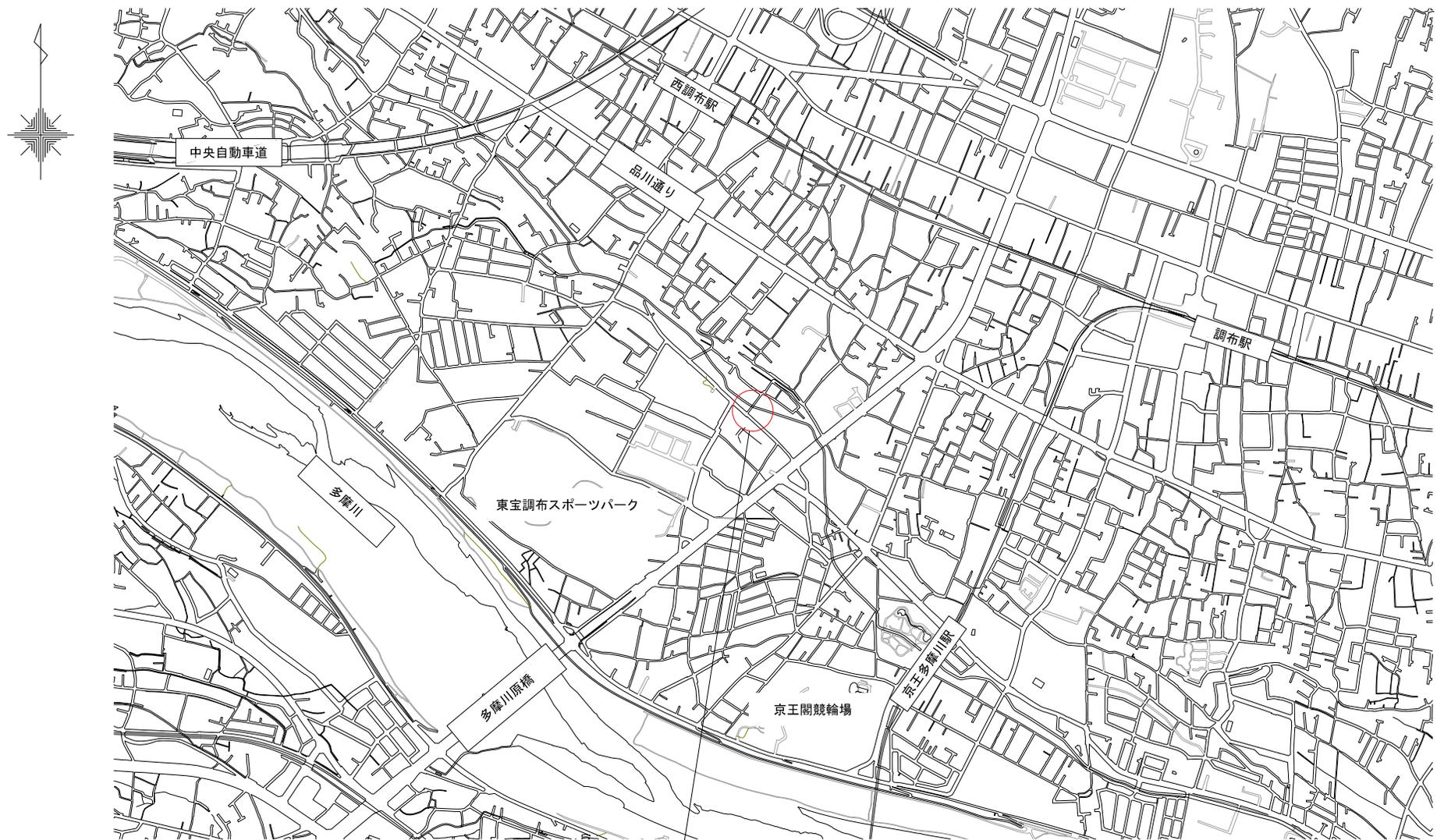
項目	規格	単位	数量	備考
ピンチプレート交換工		箇所	2	
ピンチプレート制作 (A2G1用)	120 x 100 x 25	ヶ	1	SS400
ピンチプレート制作 (A2G2用)	120 x 109 x 25	ヶ	1	SS400

※ 製作にあたっては、現地計測にて寸法の確認を行うこと。

路線(河川)名	市道E 6 2号線		
工事件名	令和7年度橋場標ほか4橋補修工事		
工事箇所又は橋名	柳川橋		
図面名称	支承補修工(ピンチプレート交換工)		
縮尺	図示 「ただし、()は、A1明に最大時」	図面番号	27
作成年月日	令和7年 7月 日		
調布市 都市整備部 道路管理課			

- この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。図面表示は、現地に測定した結果を基に端数処理して表示している。
- 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

下森村橋 位置図
S=1/10000(1/5000)

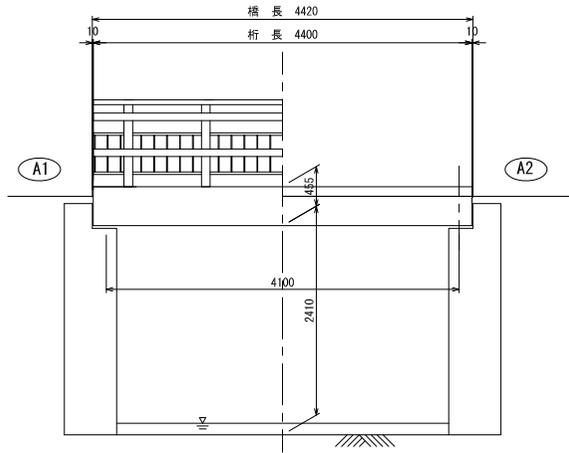


工事箇所
(市道W255号線 下森村橋)

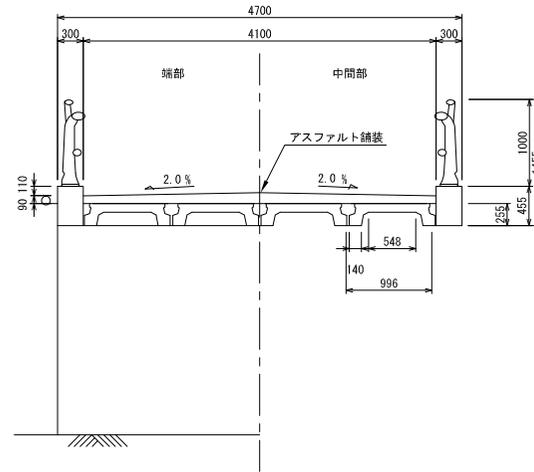
路線(河川)名	市道W255号線	
工事件名	令和7年度橋樑橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	下森村橋	
図面名称	位置図	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1用紙(最大時)」	図面番号 28
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部	道路管理課

下森村橋 橋梁一般図

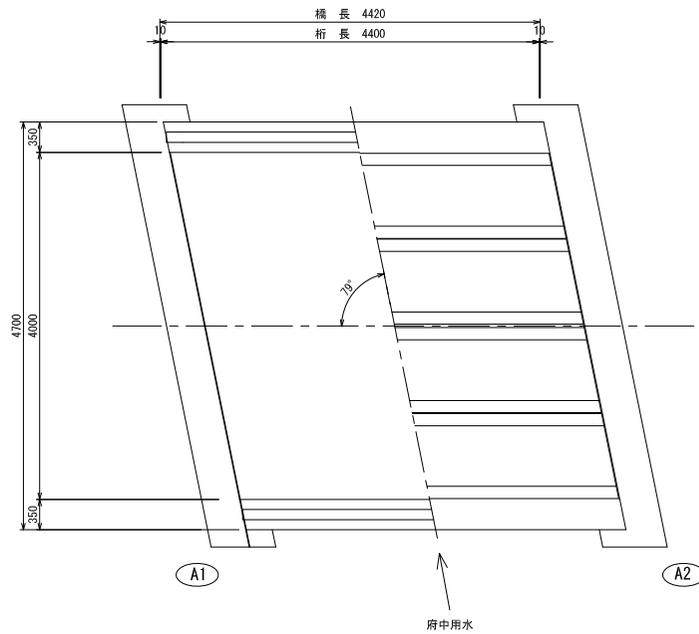
側面図 S=1/60(1/30)



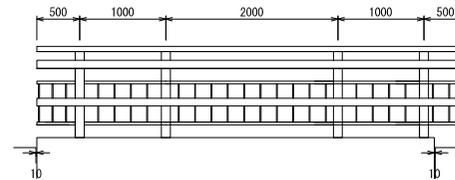
断面図 S=1/60(1/30)



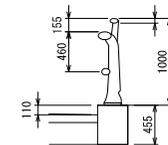
平面図 S=1/60(1/30)



防護柵側面図 S=1/60(1/30)



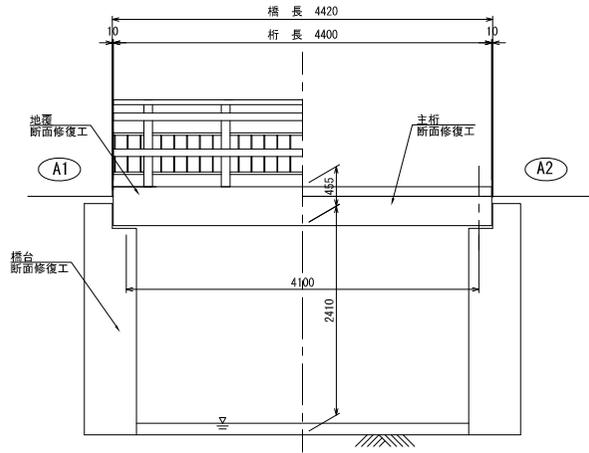
防護柵断面図 S=1/60(1/30)



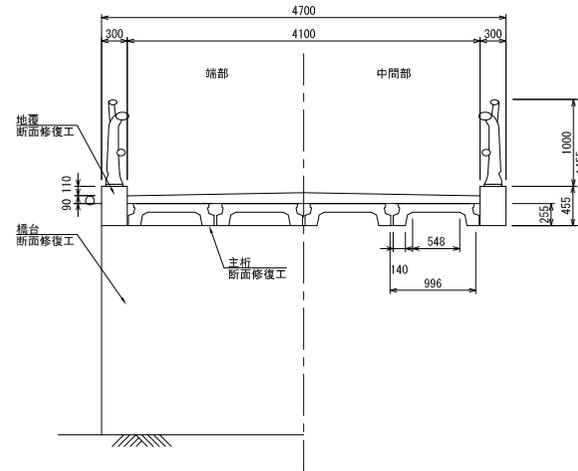
路線(河川)名	市道W255号線	
工事件名	令和7年度橋樑橋たか4橋補修工事	
工事箇所又は橋名	下森村橋	
図面名称	一般図	
縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」	図面番号
作成年月日	令和7年 7月 日	29
調布市 都市整備部 道路管理課		31

下森村橋 補修一般図

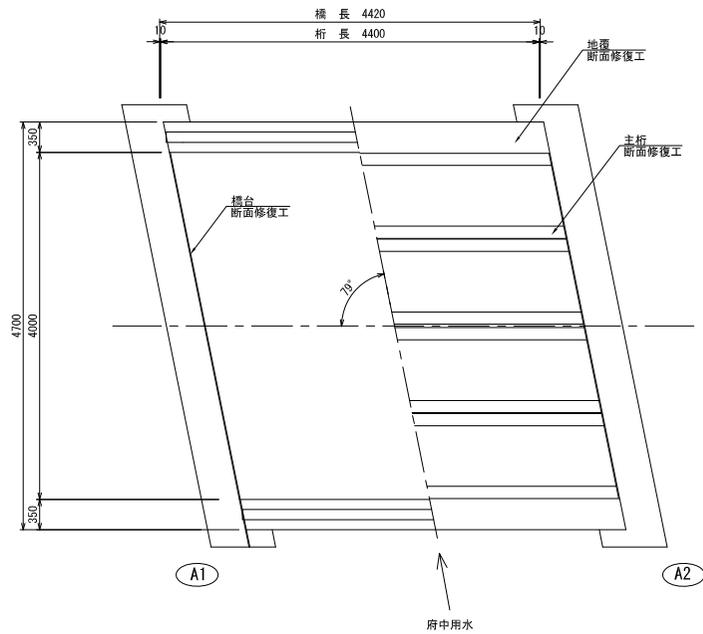
側面図 S=1/60(1/30)



断面図 S=1/60(1/30)



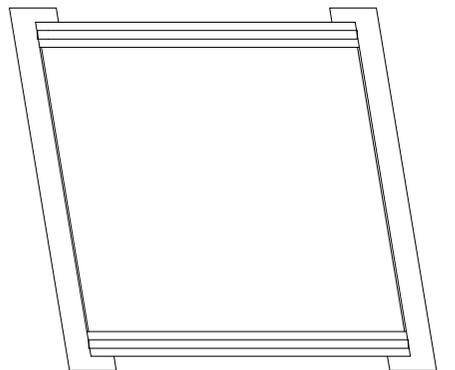
平面図 S=1/60(1/30)



路線(河川)名	市道W255号線	
工事件名	令和7年度橋場橋往か4橋補修工事	
工事箇所又は橋名	下森村橋	
図面名称	補修一般図	
縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」	図面番号
作成年月日	令和7年 7月 日	30
調布市	都市整備部 道路管理課	31

下森村橋 断面修復工図

橋面 S=1/80(1/40)

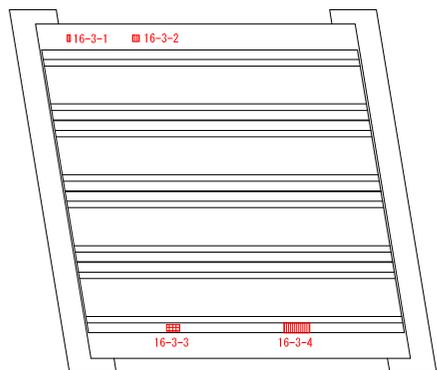


A1

府中用水

A2

下面 S=1/80(1/40)

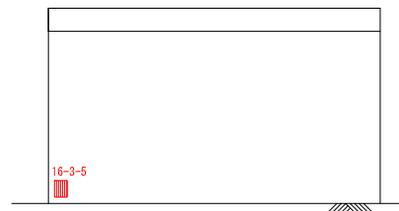


A1

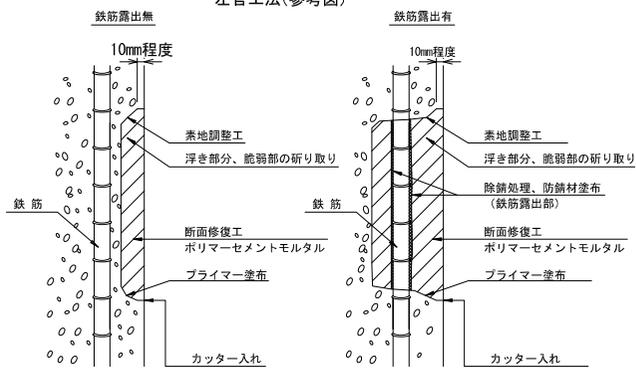
府中用水

A2

A1橋台 S=1/80(1/40)



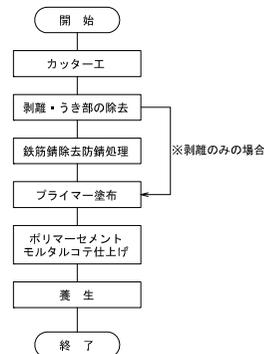
断面修復工 左官工法(参考図)



注記)

- 施工前に現地調査を実施し、寸法および損傷状況を確認すること。
- 断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
- はつり範囲に鉄筋がある場合は、素地調整のため鉄筋の裏側15mm程度まではつり、防錆処理を施すこと。

<断面修復工 施工手順>



補修数量

断面修復工(左官工法)

補修番号	部位	損傷寸法			鉄筋露出の有無	補修量(m3)
		幅(m)	長さ(m)	深さ(m)		
16-3-1	地震	0.05	0.10	0.05	有	0.001
16-3-2	地震	0.10	0.10	0.05	有	0.001
16-3-3	主桁	0.20	0.10	0.03	無	0.001
16-3-4	主桁	0.40	0.15	0.05	有	0.003
16-3-5	A1橋台(縦壁)	0.25	0.20	0.05	有	0.002
合計						0.008

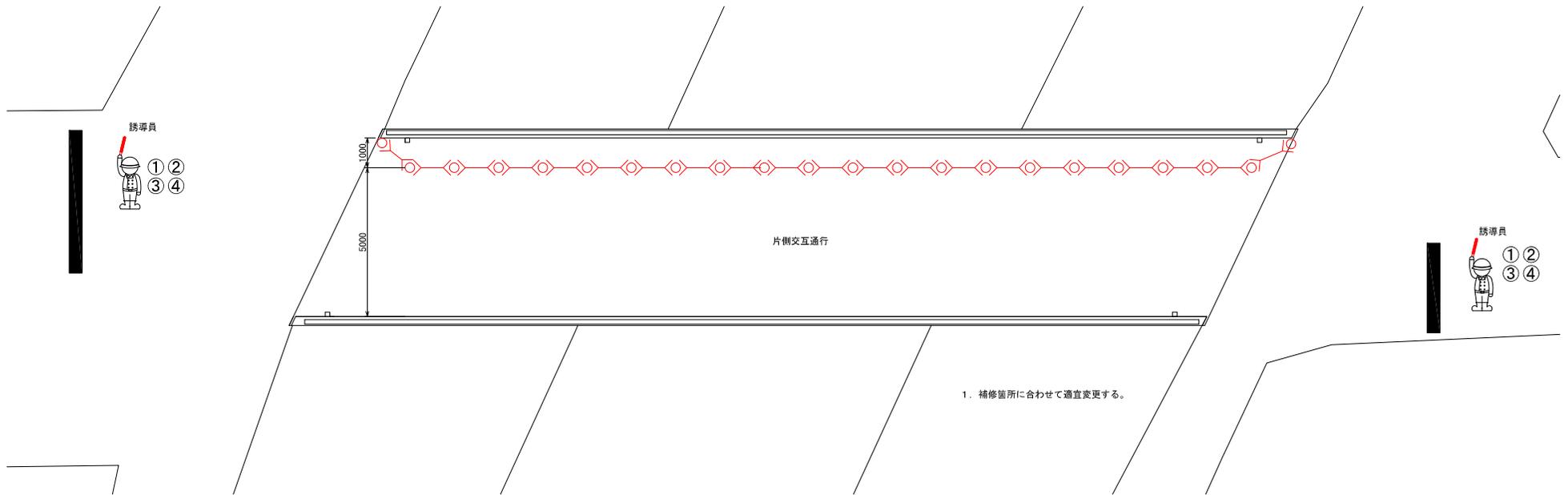
※鉄筋露出がある箇所は深さを50mm、無い場合は深さ30mmを仮定している。また、最小補修量は0.001㎡とする。

1. この図面は既存の資料および現地計測結果を基に作成したものである。
図面表示は、現地にて測定した結果を基に端数処理して表示している。
2. 測定の誤差も生じること、および図面上での推定値の丸目表示もあるので注意すること。
工事においては、施工前に現地調査を実施し、再度構造寸法および数量を確認すること。

路線(河川)名	市道W2 5 5号線
工事件名	令和7年度橋樑橋ほか4橋補修工事
工事箇所 又は橋名	下森村橋
図面名称	断面修復図
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」
作成年月日	令和7年 7月 日
調布市 都市整備部 道路管理課	31

橋場橋 交通規制図
(参考図)

交通規制図 S=1/140(1/70)

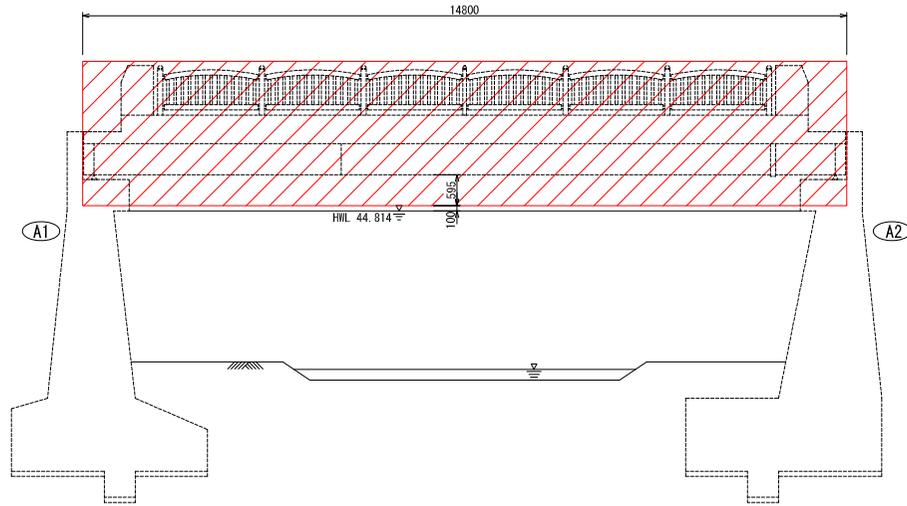


記号	①	②	③	④	⑤
形状 名称					
ひび割れ補修時	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日
断面修復工事	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日

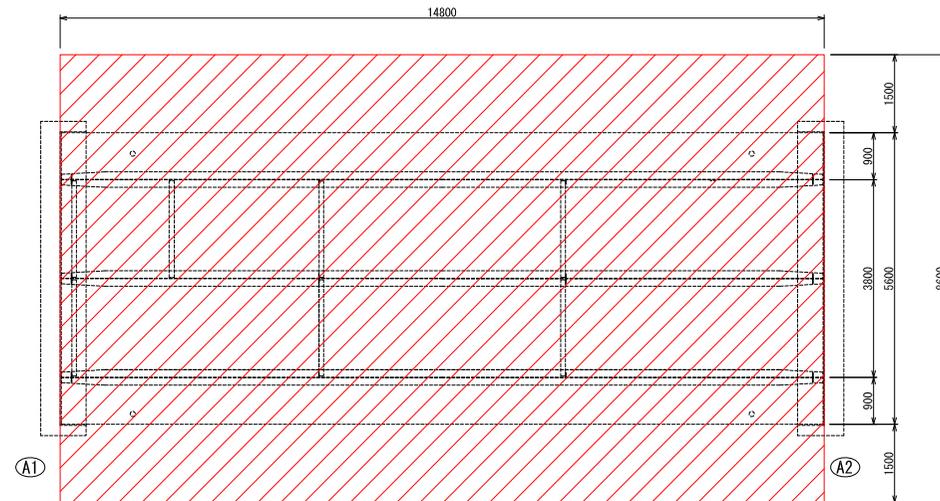
路線(河川)名	市道N182号線	
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工 事 箇 所 又は 橋 名	橋 場 橋	
図 面 名 称	交通規制図(参考図)	
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図 面 番 号 参 1
作成年月日	令和7年 7月 日	
調 布 市	都市整備部	道路管理課

千羽橋 足場仮設工図
(参考図)

側面図 S=1/100 (1/50)

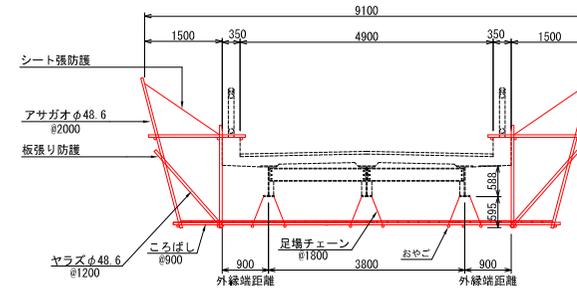


平面図 S=1/100 (1/50)



↑
仙川

断面図 S=1/100 (1/50)



足場仮設工集計表

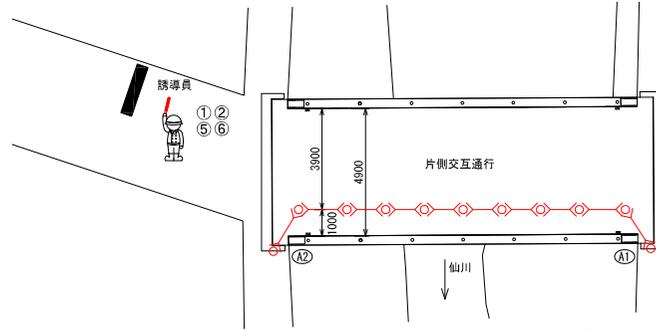
項目	規格	単位	数量	備考
吊足場	桁高h<1.5	m ²	56.24	
床面シート防護工		m ²	56.24	
朝顔(両側)		m ²	50.32	
板張り防護工(朝顔)		m ²	50.32	
シート張防護工(朝顔)		m ²	50.32	

路線(河川)名	市道E20号線	
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	千羽橋	
図面名称	足場仮設工図(参考)	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図面番号 参2
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市 都市整備部 道路管理課		参7

千羽橋 交通規制図 (参考図)

迂回経路図 S=1/2000(1/1000)
(防錆処理工時)

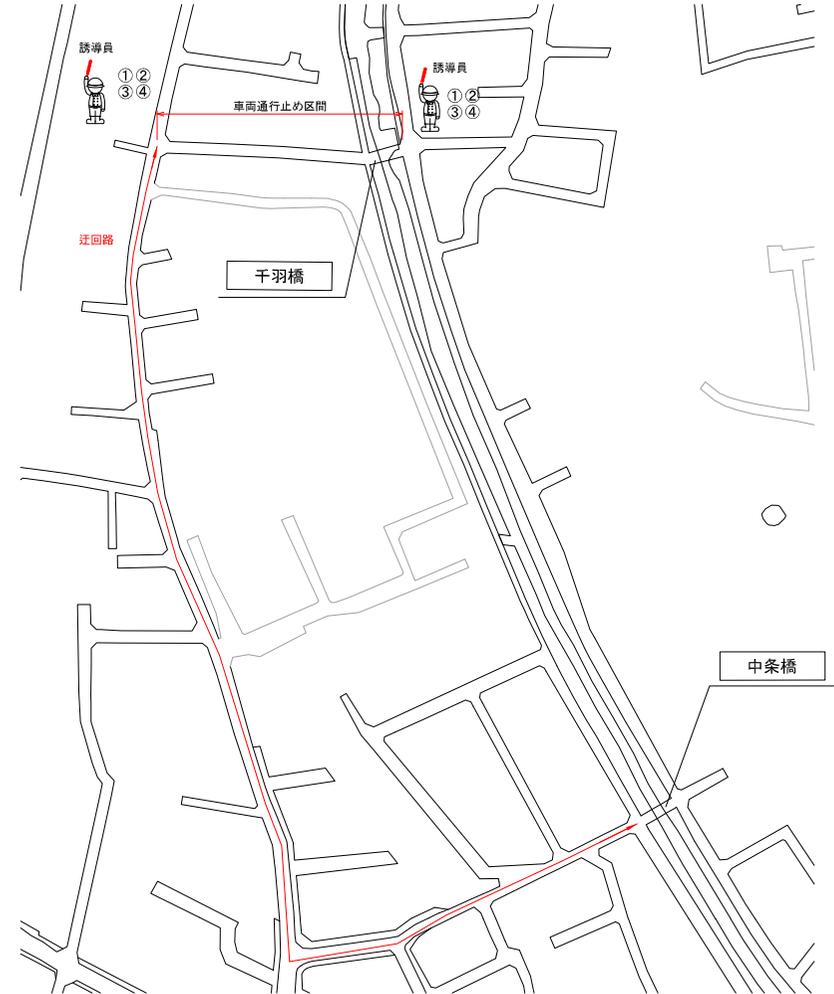
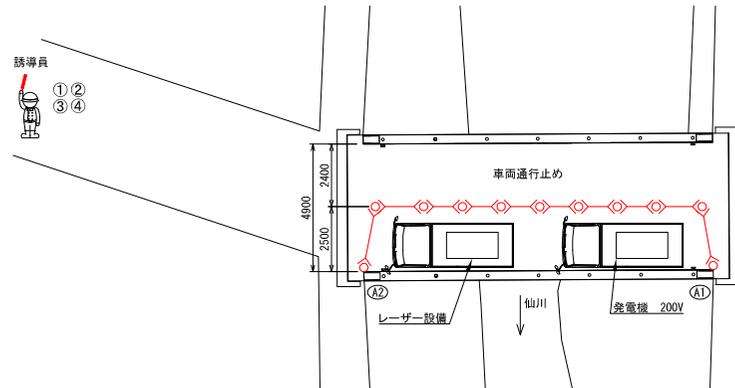
交通規制図 S=1/200(1/100)
(ひびわれ補修工、断面修復工、表面被覆工時)



1. 補修箇所に合わせて適宜変更する。



交通規制図 S=1/200(1/100)
(防錆処理工時)

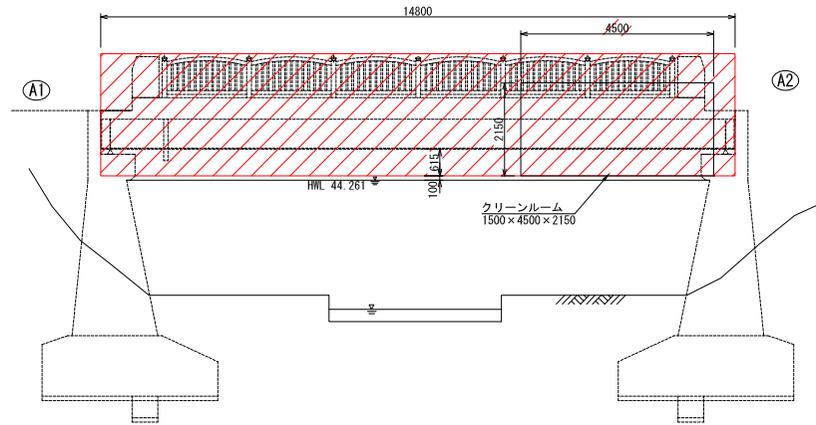


記号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
形状							
名称	工事 中	橋梁補修工事 停止して待機 片側交互通行 規制区間	車両 通行 止	片側 交互 通行 止	片側 交互 通行 止	片側 交互 通行 止	誘導員
ひびわれ補修工時	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日
断面修復工時	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日
表面被覆工時	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日
防錆処理工時	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日

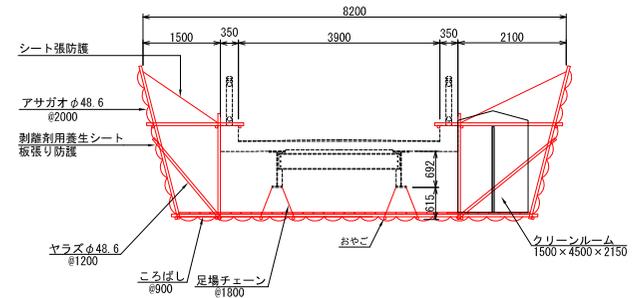
路線(河川)名	市道E20号線	
工事件名	簡尺	
工事箇所 又は橋名	千羽橋	
図面名称	交通規制図(参考図)	
簡尺	図示 「ただし、()は、A1用(最大時)」	図面番号 参3
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市 都市整備部 道路管理課	参7	

中条橋 足場仮設工図
(参考図)

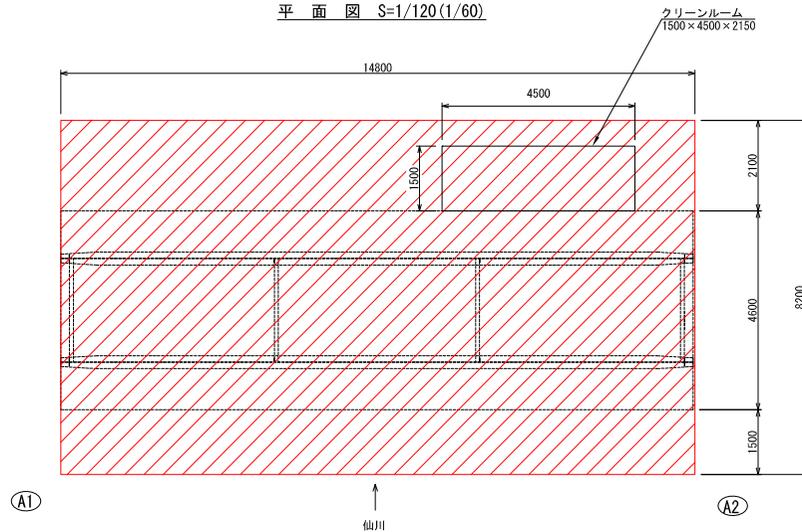
側面図 S=1/120 (1/60)



断面図 S=1/100 (1/50)



平面図 S=1/120 (1/60)



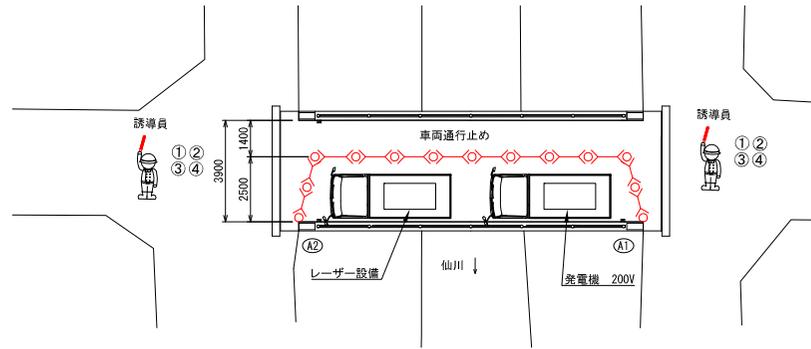
足場仮設工集計表

項目	規格	単位	数量	備考
吊足場	桁高h<1.5	m2	68.08	
床面シート防護工		m2	68.08	
朝顔(両側)		m2	53.28	
板張防護工(朝顔)		m2	53.28	
シート張防護工(朝顔)		m2	53.28	
プラスチック養生シート工	塗膜除去工時	m2	121.36	

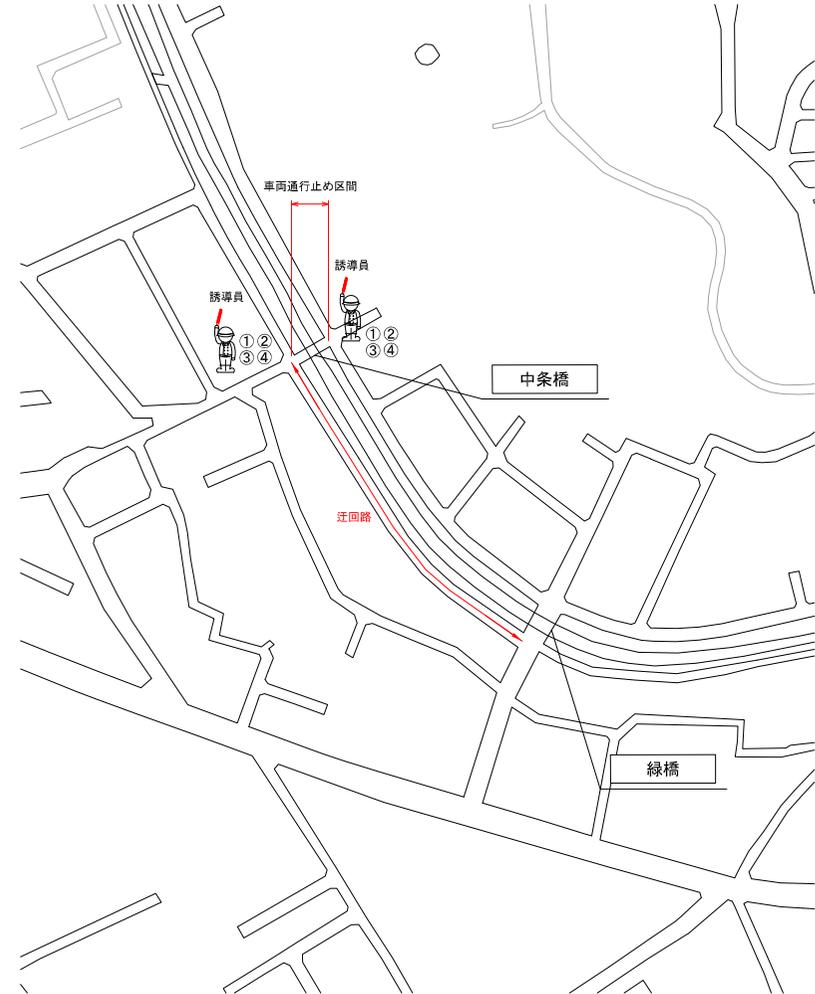
路線(河川)名	市道E3-2号線	図面番号	
工事件名	令和7年度橋樑橋ほか4橋補修工事	図面番号	参4
工事箇所又は橋名	中条橋	図面番号	参7
図面名称	足場仮設工図(参考図)		
縮尺	図示「ただし、()は、A1判に拡大時」		
作成年月日	令和7年7月 日		
調布市 都市整備部 道路管理課			

中条橋 交通規制図 (参考図)

交通規制図 S=1/200(1/100)



迂回経路図 S=1/2000(1/1000)

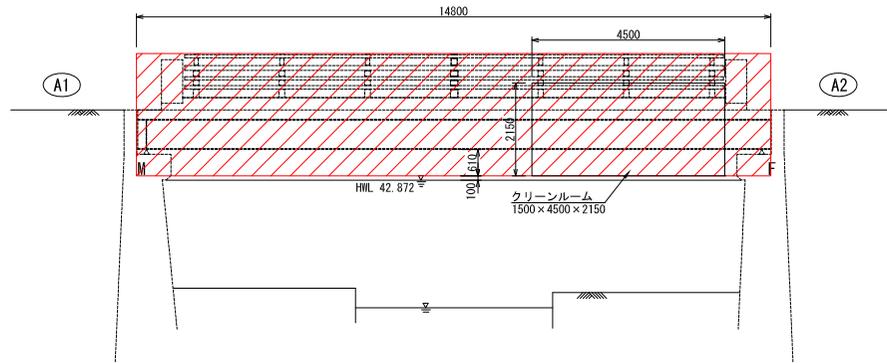


記号	①	②	③	④	⑤
形状 名称					
防錆処理工時	2枚	2枚 <small>注1: 口は別個で置きかえます。</small>	2枚	2枚	2人/日

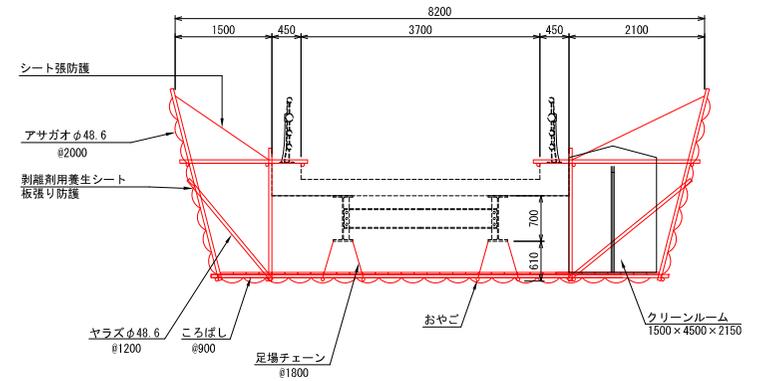
路線(河川)名	市道E3-2号線	
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	中条橋	
図面名称	交通規制図(参考図)	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1型に拡大時」	図面番号 参5
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市	都市整備部	道路管理課

柳川橋 足場仮設工図
(参考図)

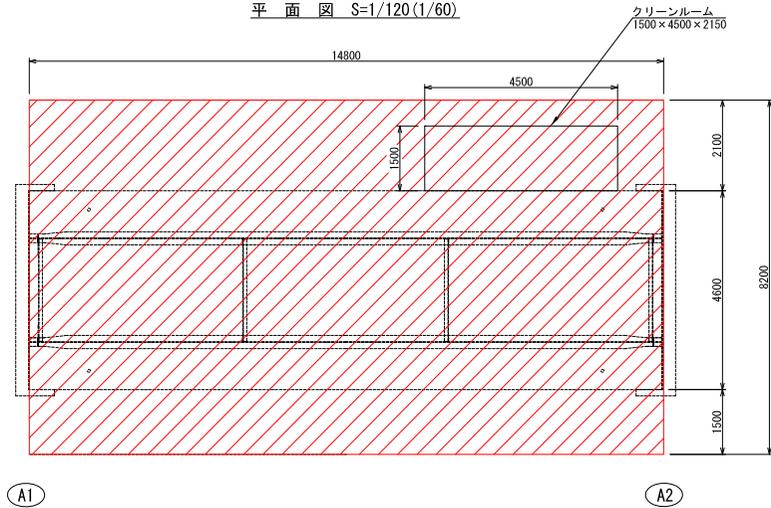
側面図 S=1/120(1/60)



横断図 S=1/80(1/40)



平面図 S=1/120(1/60)



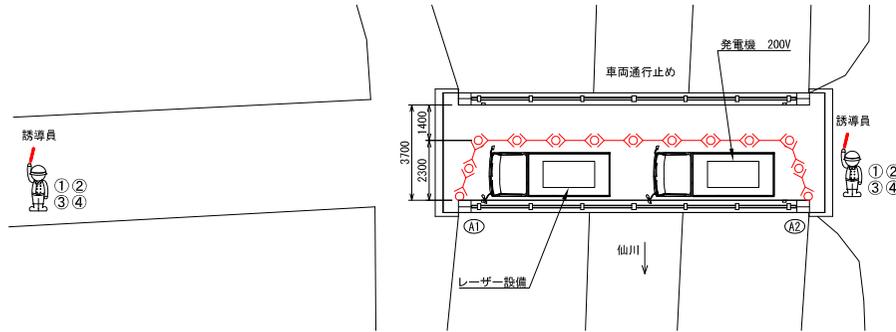
足場仮設工集計表

項目	規格	単位	数量	備考
吊足場	桁高h<1.5	m2	68.08	
床面シート防護工		m2	68.08	
朝顔(両側)		m2	53.28	
板張り防護工(朝顔)		m2	53.28	
シート張防護工(朝顔)		m2	53.28	
プラスト用養生シート工	塗膜除去工時	m2	121.36	

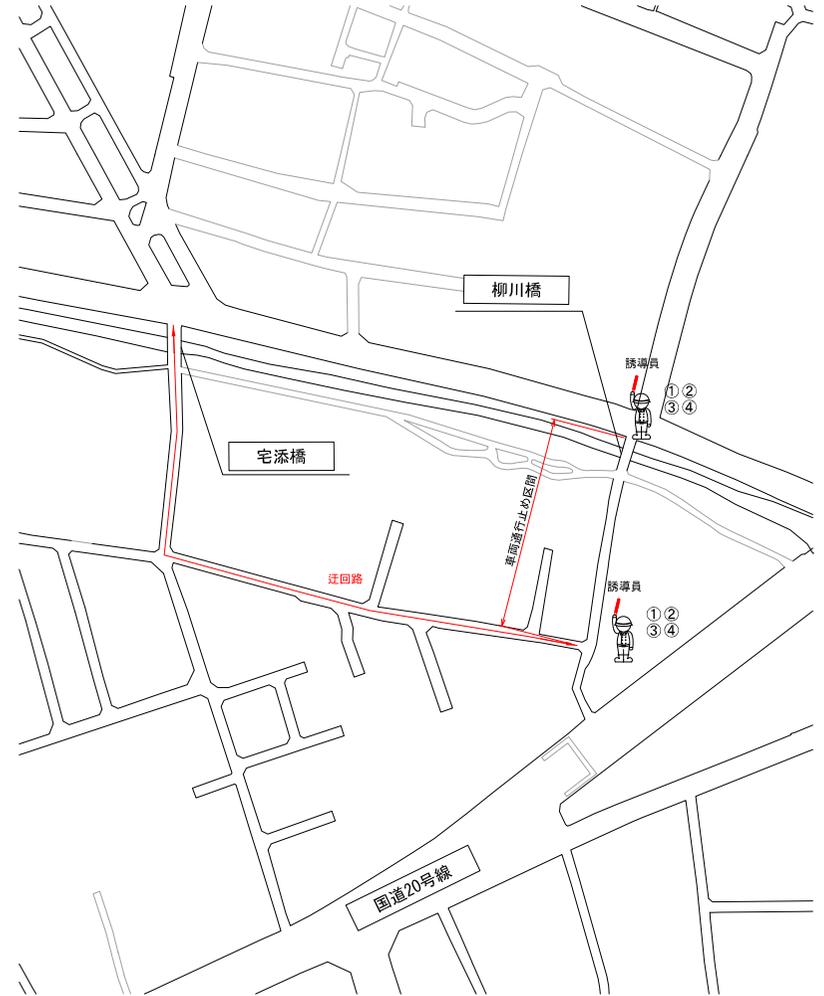
路線(河川)名	市道E62号線	
工事件名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工事箇所 又は橋名	柳川橋	
図面名称	足場仮設工図(参考図)	
縮尺	図示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図面番号 参6
作成年月日	令和7年 7月 日	参7
調布市	都市整備部	道路管理課

柳川橋 交通規制図
(参考図)

交通規制図 S=1/200(1/100)



迂回路図 S=1/2000(1/1000)



記号	①	②	③	④	⑤
形状 名称					
防錆処理工事	2枚	2枚	2枚	2枚	2人/日

路線(河川)名	市道E62号線	
工 事 件 名	令和7年度橋場橋ほか4橋補修工事	
工 事 箇 所 又は 橋 名	柳 川 橋	
図 面 名 称	交通規制図(参考図)	
縮 尺	図 示 「ただし、()は、A1判に拡大時」	図 面 番 号 参 7
作成年月日	令和7年 7月 日	
調布市 都市整備部 道路管理課	参 7	